

令和 7 年度

香芝市の教育に関する事務の
管理及び執行の点検及び評価報告書

(令和 6 年度対象)

令和 7 年 1 1 月

香 芝 市 教 育 委 員 会

目 次

はじめに	1
1 施策の点検・評価	
(1) 令和6年度点検・評価事業一覧	2
(2) 点数・自動判定について	3
(3) 令和6年度 行政評価（進捗管理シート・3視点評価シート）	4
(4) 令和6年度 評価指標管理シート	15
(5) 令和6年度 主要な施策の成果報告書	17
2 資料	
(1) 教育委員会の概要	41
(2) 教育委員会会議の開催状況	42
(3) 教育委員会会議以外の活動状況	44
(4) 児童生徒数一覧	45
3 点検及び評価について	46
4 施策の点検・評価に関する知見者の意見	
(1) 知見者の意見	46
(2) 知見者名簿	48

はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会では、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表することが義務づけられています。

本報告書は、同法に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、令和6年度に実施した事業のうち、主な事業について、教育に関する学識経験者の知見を活用しながら点検及び評価を実施した結果をまとめたものです。

香芝市教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(昭和31年法律第162号)(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1 施策の点検・評価

(1) 令和6年度点検・評価事業一覧

第5次香芝市総合計画			事務事業名	所 管 課
政策名	施 策 名	主な取り組み		
1. 未来を創造する子どもたちのために。（子育て・教育）	4. 学校教育の充実【P4】	学びの推進・支援	学力向上推進事業	学校支援室
			教育相談支援事業	学校支援室
		安心して学べる教育環境の整備	小学校施設維持管理事業	教育総務課
			中学校施設維持管理事業	教育総務課
	5. 家庭・地域・学校の連携【P6】	地域ぐるみの子どもの支援	学校・地域パートナーシップ事業	生涯学習課
		青少年の健やかな育成	青少年体験交流推進事業	生涯学習課
			青少年健全育成事業	生涯学習課
3. 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。（人権・協働・文化）	14. 文化芸術の振興・多文化共生【P8】	文化の発信・創造・交流の支援	文化施設管理・運営事業	生涯学習課
	15. 生涯学習とスポーツ活動の充実【P10】	生涯学習機会の充実	生涯学習機会提供事業	生涯学習課
		スポーツ活動の充実	スポーツ活動支援事業	生涯学習課
		図書館機能の充実	資料情報提供事業	市民図書館
			読書普及活動事業	市民図書館
	16. 歴史文化財の保存と継承・展開【P13】	二上山博物館機能の充実	博物館活性化事業	文化財課
		文化財の保護・啓発	文化財保護啓発事業	文化財課

（参考）【総合評価の算出方法】

必要性、有効性、効率性の3視点評価を今年度評価点数（100点満点）に換算し、その値の合計点数（100点満点）を5段階（A～E）で評価する。

◆項目別の点数割合

項目	点数（最大）	選択肢毎の点数	点数
必要性	100点（平均）	あてはまる（あてはまらない）	20
有効性		ややあてはまる（ややあてはまらない）	15
効率性		ややあてはまらない（ややあてはまる）	7
		あてはまらない（あてはまる）	0

(2) 点数・自動判定について

(参考) 【自動判定結果について】

「3視点評価シート」の結果を、以下表に照合して自動判定を行っています。

表に記載している「成果とコストの方向性」、「現在の事業の状態」、「方向性の考え方の例」を参考として、事業の進捗や施策マネジメントの見地から、「今後の方向性」を判断しています。

		点数			現在の事業の状態	「成果」と「コスト」の方向性	方向性の考え方の例
		必要性	有効性	効率性			
1	有効性（のみ）が低い	75～100	0～35	75～100	市が行うべき事業で、事業効率も高いが、成果が <u>全然</u> でない。	成果→拡充 コスト→拡大or現状維持	費用対効果がいいのだから、よりコストをかけて、成果をあげる。
		52～74	0～35	52～74			
		75～100	0～35	52～74			
		52～74	0～35	75～100			
2	有効性（のみ）がやや低い	75～100	36～51	75～100	市が行うべき事業で、事業効率も高いが、成果が <u>あまり</u> でない。	成果→拡充 コスト→拡大or現状維持	生産性をあげる工夫をする。
		52～74	36～51	52～74			
		75～100	36～51	52～74			
		52～74	36～51	75～100			
3	有効性と効率性が「低い」	75～100	0～35	0～35	市が行うべき事業であるが、成果がでておらず、また事業効率も悪い。	成果→拡充 コスト→縮小	民間連携や協働化等によって、事業効果と事業効率をあげる。
	有効性がやや低く、効率性が低い	75～100	36～51	0～35			
	有効性が低く、効率性がやや低い	75～100	0～35	36～51			
	有効性と効率性が「やや低い」	75～100	36～51	36～51			
		52～74	36～51	36～51			
		52～74	0～35	0～35			
4	3視点とも「高い」か「やや高い」	75～100	75～100	75～100	現状で費用対効果が高く、成果も出ている。	成果→現状維持 コスト→現状維持	現状維持（改善が出尽くしている）
		75～100	75～100	52～74			
		75～100	52～74	75～100			
		75～100	52～74	52～74			
		52～74	75～100	75～100			
		52～74	75～100	52～74			
5	効率性（のみ）が低い	75～100	75～100	0～35	費用対効果が高く、成果もでているが、コストがかかりすぎている。	成果→現状維持 コスト→縮小	効率性をあげて、コスト削減していく。
		75～100	52～74	0～35			
		52～74	75～100	0～35			
	効率性（のみ）がやや低い	75～100	75～100	36～51	費用対効果が高く、成果もでているが、若干コストがかかりすぎている。	成果→現状維持 コスト→縮小	効率性をあげて、コスト削減していく。
		75～100	52～74	36～51			
		52～74	75～100	36～51			
6	必要性和有効性が低い	0～35	0～35	75～100	費用対効果は高いが、市が必ずしも実施する必要のない事業で、成果もでない。	成果→縮小 コスト→縮小	段階的に事業から撤退していく
	必要性がやや低く、有効性が低い	36～51	0～35	75～100			
	必要性が低く、有効性がやや低い	36～51	0～35	52～74			
	必要性和有効性がやや低い	36～51	36～51	75～100			
		36～51	36～51	52～74			
		36～51	36～51	52～74			
7	3視点とも「低い」か「やや低い」	0～35	0～35	0～35	市が必ずしも実施する必要のない事業で、成果もでない。	成果→縮小 コスト→縮小 or 休廃止	廃止または民営化する。
		0～35	0～35	36～51			
		36～51	0～35	0～35			
		36～51	0～35	36～51			
		0～35	36～51	0～35			
		36～51	36～51	0～35			
8	必要性（のみ）が低い	0～35	75～100	75～100	成果がでており事業効率もよいが、市が必ずしも実施すべき事業ではない。	成果→縮小 コスト→縮小 or 休廃止	廃止または民営化する。
		0～35	75～100	52～74			
		0～35	52～74	75～100			
	必要性（のみ）がやや低い	36～51	75～100	75～100			
		36～51	75～100	52～74			
		36～51	52～74	75～100			
	必要性和効率性が低い	0～35	75～100	0～35	成果はでているが、市が必ずしも実施すべき事業ではない。	成果→縮小 コスト→縮小 or 休廃止	廃止または民営化する。
		0～35	52～74	0～35			
		36～51	75～100	0～35			
		36～51	52～74	0～35			
		0～35	75～100	36～51			
		0～35	52～74	36～51			
	必要性和効率性がやや低い	36～51	75～100	36～51			
		36～51	52～74	36～51			

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画 36-38 ページ）

政策名	1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策名	4 学校教育の充実

★

目指す姿

すべての児童・生徒が安全に安心して、主体的・対話的で深い学びができる環境が整っている。

2

目標をゼロに

3

すべての人に健康と福祉を

4

質の高い教育をみんなに

16

平和と公正をすべての人に

SDGs該当分野

■施策の主な取り組み

① 学びの推進・支援

一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うことで、学ぶ意欲と確かな学力を身に付け、未来を担う子どもたちを育成します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①ー1	学力向上推進事業	知・徳・体のバランスの取れた教育内容(読書活動、外国語教育、道徳教育、体力向上等)の充実を図り、学ぶ楽しさと分ける喜びが実感できる授業の創造に向けて、教職員の資質向上を進めます。	●
①ー2	教育相談支援事業	一人ひとりに応じた学習環境(特別支援教育・教育相談)を提供します。また、福祉等の関係機関と連携して、いじめの防止や不登校児童生徒の支援に取り組むなど、きめ細かな教育を進めます。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
学校に行くのが楽しい子どもの割合	%	全国学力・学習状況調査(文部科学省)で「楽しいと思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した人数／全回答者数(小学校6年生・中学校3年生対象)	84.0	84.4	84.8	85.2
国語・算数(数学)の勉強が好きな子どもの割合	%	全国学力・学習状況調査(文部科学省)で「好き」どちらかと言えば好き」と回答した人数／全回答者数(小学校6年生・中学校3年生対象)	62.0	64.0	66.0	68.0
国語・算数(数学)の平均正答率	%	全国学力・学習状況調査(文部科学省)で問題に正解した人数／全回答者数(小学校6年生・中学校3年生対象)	65.0	67.0	69.0	71.0
児童・生徒のICT活用を指導する能力	%	学校における教育の情報化の実態等に関する調査(文部科学省)で指導する能力4項目に対して「できる」「ややできる」と回答した教員数／全回答者数(市内小中学校教員対象)	56.0	61.0	66.0	67.0

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
80.9	84.4	80.1	80.1	94.9%	教育部 学校支援室
55.6	64.0	58.1	58.1	90.8%	教育部 学校支援室
63.0	67.0	61.6	61.6	91.9%	教育部 学校支援室
83.4	85.3	—	82.3	96.5%	教育部 学校支援室

② 安心して学べる教育環境の整備

児童生徒が安全で快適に学校生活を送れるよう、学校施設の老朽化対策として長寿命化に取り組むほか、施設全般の環境向上や機能の維持・向上を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②ー1	小学校施設維持管理事業	子どもの人数の推移に合わせて計画的に施設の再編や整備を進めるとともにICTを活用し、児童生徒がより主体的・協働的に学習できる環境づくりを進めます。また各小学校施設の状況に応じて修繕する等、日々の維持管理を行い、並行してトイレの洋式化を進めます。	●
②ー2	中学校施設維持管理事業	子どもの人数の推移に合わせて計画的に施設の再編や整備を進めるとともにICTを活用し、児童生徒がより主体的・協働的に学習できる環境づくりを進めます。また各中学校施設の状況に応じて修繕する等、日々の維持管理を行い、並行してトイレの洋式化を進めます。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
小学校・中学校施設の長寿命化	棟	長寿命化改修工事が完了した棟数(令和2年度からの累計)	0	0	10	19
学校トイレの洋式化	%	トイレの洋式化改修工事が完了した便器数(累計)／改修工事対象便器総数	39.2	68.4	93.0	99.5

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
0	0	0	0	—	教育部 教育総務課
67.3	68.4	72.7	76.9	112.4%	教育部 教育総務課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点	所管判定	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
				必要性 有効性 効率性	成果の方向性 コストの方向性		
今年度の事業実施計画							
①ー1	学力向上推進事業	【実績】 ・各種テーマによる教員研修では、研修内容を改善して実施したため、事後アンケートでは昨年度より満足度が上がった講座があった。 【課題】 ・ALTを活用した言語活動の充実に向けて、ALTを同一校へ継続的に配置するとともに、外国語担当の教員の研修を深める必要がある。 ・各校において、学力向上には読解力の向上が不可欠であることを共通認識の上、新聞、書籍を読む機会の増加に向けた効果的な取組を一層強化する必要がある。	B	95 64 87	拡充 拡大	【成果の方向性】 ・教員の教科指導力、生徒指導力の充実に向け、教員のニーズを踏まえ、実態に即した研修内容で実施する。 ・学力を支える児童生徒の読解力向上のため、新聞購読の機会を引き続き確保する。 ・外国語指導助手の配置時間を増加し、言語活動を充実させる。 【コストの方向性】 ・R5からR6に増額した新聞購入費を、次年度も確保する。 ・外国語指導助手配置に係る委託料を増額する。	教育部 学校支援室
①ー2	教育相談支援事業	【実績】 ・スクールカウンセラーについては、主に不登校、発達に関する相談等に応じている。 ・本年度から適応指導教室に配置した不登校等相談員に、学校に相談しにくい状況にある保護者からのニーズに応じているため、相談件数が増加している。 ・児童生徒保護者向けに、各種相談窓口案内のチラシを年度当初、2学期当初の2回配布し、周知を図った。 【課題】 ・各種相談窓口の周知に一層努め、困り感をもつ保護者、児童生徒のため、関係機関と連携をスムーズに行う。	A	100 85 74	現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・適応指導教室内に配置した不登校等相談員に一定のニーズがあるため、次年度も同条件での契約で検討する。 【コストの方向性】 ・SC、不登校等相談員については、相談の質の確保のため、報償費については本年と同条件で検討する。	教育部 学校支援室
②ー1	小学校施設維持管理事業	【実績】 ・二上小学校長寿命化改修工事は、R5～R7年度を予定しており現在工事施工中である。 ・トイレ改修工事(前年度繰越事業)、鎌田小学校屋根改修工事、三和小学校普通教室改修工事については、予定どおり完了した。 ・各小学校改修工事等については、19件実施した。 【課題】今後、施設の長寿命化改修工事を実施していく予定であるが多くの施設が老朽化し多額の費用がかかる見通しであり、費用負担の軽減をどのように行うかが課題である。	B	95 75 85	現状維持 現状維持	・二上小学校長寿命化改修工事はR5～R7で実施。 ・下田小学校長寿命化改修工事の伴う設計業務について、設計が完了し、来年度工事施工を予定している。(前年度繰越事業) ・トイレ改修工事(下田小、五位堂小)については完了。前年度繰越事業(三和小、志都美小)についても完了した。 ・鎌田小学校屋根改修工事、三和小学校普通教室改修工事については完了。 ・老朽化している施設、設備の更新、施設整備などを順次実施する・個別計画の更新を行いながら、計画を実施していく。	教育部 教育総務課
②ー2	中学校施設維持管理事業	【実績】 ・香芝東中学校屋内運動場屋根等改修工事について、予定どおり完了した。 ・各中学校改修工事等について、12件実施した。 【課題】今後、施設の長寿命化改修工事を実施していく予定であるが多くの施設が老朽化し多額の費用がかかる見通しであり、費用負担の軽減をどのように行うかが課題である	B	95 75 85	現状維持 現状維持	・香芝東中学校屋内運動場屋根等改修工事については完了。 ・老朽化している施設、設備の更新、施設整備などを順次実施する・個別計画の更新を行いながら、計画を実施していく。	教育部 教育総務課

■施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・児童生徒の学力向上のため、教員の指導力向上に向け研修をより充実させるとともに、読解力向上の取組を充実させる。 ・児童生徒が安心安全に通える学校の実現のため、教育相談の質を確保するとともに、各種相談窓口から関係機関へのスムーズな連携を実現する。 ・長寿命化計画に沿って各施設の適切な維持管理を継続していく。
---------	---

担当課評価			成果の方向性	コストの方向性		
A	1	事業	拡充	1	事業	拡大
B	3	事業	現状維持	3	事業	現状維持
C	0	事業	縮小	0	事業	縮小
			休廃止	0	事業	休廃止

令和6年度 行政評価 3視点評価シート

施策名

4 学校教育の充実

評価の視点	評価項目		回答方法補足	①-1	①-2	②-1	②-2				
				学力向上推進事業	教育相談支援事業	小学校施設維持管理事業	中学校施設維持管理事業				
事業の必要性	需要度	当該事業に対する住民ニーズは低い、もしくはニーズへの対応は完了している。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	あてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
	量的適正性	成果の精度やサービスの供給量が、必要とされる範囲を超過している。		あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				
	影響度	事務事業を取り止めた場合でも、住民の生活や市政の満足度に影響はない。		ややあてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				
	主体性	必ずしも市が実施する必要がなく、国・県・民間・他の部局等に類似した事務事業がある。		あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				
	緊急性	現状、市の課題や問題になっているわけではなく、緊急性が高い事業ではない。		あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				
事業の有効性	達成度(単年)	評価指標の単年度目標は達成できる見込みである。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	ややあてはまらない	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる				
	達成度(長期)	評価指標の最終目標(R6目標値)は達成できる見込みである。		ややあてはまらない	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる				
	質的向上	数値化できない効果も含み、住民サービスの質的向上が見られる。		ややあてはまる	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる				
	施策貢献度	事業の成果が総合計画の施策の目的達成に貢献している。		あてはまる	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる				
	実現性	事業の将来的な理想形や目標とする姿があり、実現に向けて順調に進捗している。		ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる				
事業の効率性	生産性	事業の実施方法や内容の見直しによって、成果を大きく向上することができる。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
	コスト効率(事業費)	新たに民間委託や他の委託先への委託等により、事業コストの縮減が可能である。		あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				
	コスト効率(人件費)	契約や人員の見直し等により、人件費の縮減が可能である。		あてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
	事務効率性	システム導入等の電子化によって、事務効率の向上及びコスト削減の余地がある。		あてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
	コスト意識	国や県、その他公的組織の事業費補助等について、特に情報収集を行っていない。または、活用できる制度があるが、利用できていない。		あてはまらない	ややあてはまる	あてはまらない	あてはまらない				

選択肢(各視点ごとに5項目)	配点
あてはまる(あてはまらない)	20
ややあてはまる(ややあてはまらない)	15
ややあてはまらない(ややあてはまる)	7
あてはまらない(あてはまる)	0



▼自動計算(各100点満点)

必要性の点数	95	100	95	95	0	0	0	0
有効性の点数	64	85	75	75	0	0	0	0
効率性の点数	87	74	85	85	0	0	0	0

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 39-41 ページ)

政策名	1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策名	5 家庭・地域・学校の連携

★目指す姿

地域ぐるみで子どもを育て、教育するという意識が共有されており、地域の大人に見守られて子どもがいきいきと活動している。

SDGs該当分野

4質の高い教育をみんなに

5ジェンダー平等を實現しよう

8働きがいも経済成長も

16平和と公正をすべての人に

※網掛け部分は、「市長の権限に属する事務」です。

■施策の主な取り組み

① 地域ぐるみの子どもの支援

経験や専門性をもった地域の人材の参画を進め、家庭と地域と学校が効果的に連携を取り合い、地域ぐるみの教育力向上に取り組めます。また、児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動ができるような居場所づくりを進めます。

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
学校・地域パートナーシップ事業地域ボランティア参加者数	人	学校・地域パートナーシップ事業地域ボランティア年間延べ参加者数	35,695	36,000	38,000	40,000
学童保育所の待機児童数	人	5月1日時点の待機児童数	6	0	0	0

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	学校・地域パートナーシップ事業	既存の地域力を集約し、学校支援につなげる人材としてコーディネーターを配置し、地域ぐるみの学校づくりを行います。また、児童の体験・交流活動を行う放課後子ども教室や、生徒の通常学習の補完的な役割としての学習支援等を行う地域未来塾を実施します。	●
①-2	学童保育運営事業	学童保育所で安定した保育を提供できるよう、指定管理者制度による効果的・効率的な運営を行います。また、保育ニーズに合わせて、小学校の余裕教室等を活用した入所定員枠の拡充を図ります。	●
①-3	学童保育所施設維持管理事業	今後の児童数の増減、多様化するニーズに対応した施設の整備及び維持・管理を行います。	●

② 青少年の健やかな育成

青少年の社会性の萌芽や新たな気付き、地域の魅力発見につながる機会の創出、また地域・家庭・学校・行政等が連携して青少年の健全育成に資する環境づくりを進めます。

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
青少年交流事業参加者数	人	子どもフェスティバル及び青少年指導員協議会等による体験学習の参加者数	2,390	2,500	2,500	2,500
「少年の主張」作文参加割合	%	「少年の主張」作文応募者数／対象学年総数(小学校5・6年生及び中学校1・2・3年生)	83.8	84	85	86

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	青少年体験交流事業	子どもフェスティバルのほか、自然体験・生活体験など年間を通じて各種イベント・講座等を開催します。	●
②-2	青少年健全育成事業	下校巡視や市内一斉巡視、店舗等の立ち入り調査を行い、非行の早期発見や犯罪に関わることを未然に防ぐとともに、「少年の主張」作文コンクールの開催やさまざまな媒体を使った広報啓発活動を実施します。	●

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	学校・地域パートナーシップ事業	◎コミュニティ協議会 等 【実績】昨年度に引き続き、会計年度任用職員として「地域活動指導員(元校長)」が本事業に関わり、学校や地域の方との連絡調整を行っている。コミュニティ協議会にも積極的に参加し、地域や学校との情報共有を図っている。また毎月地域学校共同活動推進員会議を開催し、各校区間の情報共有を図っている。 【課題】地域学校協働活動推進員はいまだ全校に配置されておらず学校間での格差もあることから、引き続き全校に推進員が配置されるよう、学校・地域と調整を行っている。 ◎地域未来塾 【実績】4中学校中4中学校で事業を実施。延べ432名の生徒が参加。 【課題】本年度も多くの教育実習生がスタッフとして参加しており、子どもたちのみならず、実習生たちの学びの場としても利用されている。来年度も、全校で開催できるよう、周知を行っていくものとする。 ◎放課後子ども教室 【実績】10小学校中8校で開催。計114名の児童が参加。9月～2月までの期間に月2回、計12回実施。 【課題】スタッフの人数としては、全体的に十分な確保ができたが、局所的にスタッフ不足になることもあり、スタッフ募集において引き続き注力する必要がある。また、スタッフの指導力向上を目的とした研修の実施も必要である。	B	72 56 87	拡充 拡大	【成果の方向性】本事業は子どもたちの健やかな成長を「学校と地域」一丸となって支える仕組みを整えていくことが目標であり、重要な事業として位置づけている。本事業を中心的に支える地域学校協働活動推進員については、中学校区に1名以上はいるものの、未だ不在の学校も複数ある状態となっており、課題も多い。引き続き学校や地域と協力しながら、地域学校協働活動推進員の配置を進め、子どもを支える環境づくりを行って行く。また、放課後子ども教室は10校中8校で開催されており、昨年度のアンケート結果からも満足度や需要は高いことがうかがえる。地域未来塾に関しても本年度は4校すべてで開催を決定しており、運営を行う学校からも需要が高いというフィードバックがある。子どもたちと地域が関わりながら、両者ともに学び、成長して行ける事業であるため、今後も改善を行いながら事業の拡大・充実を図る。 【コストの方向性】本事業は地域・学校との関わりから展開されるが、近年においては要望やニーズが複雑・多様化しており、コスト・業務量の増大が予想される。また、最低賃金上昇に伴う及びスタッフの拡充により各種謝礼においてはコスト上昇の方向性となる。	教育部 生涯学習課
①-2	学童保育運営事業	【実績】・真美ヶ丘東小学校3階の余裕教室を真美ヶ丘東第3学童保育所として運用を開始し、38名の定員拡充を実施した。 【課題】・普通教室の並びの一角にあるため、授業の終了時間の関係から4年生～5年生の利用に限られる。また、小学校のセキュリティ面から最終使用時間が17時までとなっているため、時間的な制約もあり運営しづらい面がある。	A	87 90 95	拡充 現状維持	・現状の学童保育所における待機児童は0人であるが、児童数の多い校区では学童保育所への入所児童数も多いほか、夏季休暇中のみではあるものの、公立学童保育所を利用できなかった児童もいたため、拡充とする。 ・公立学童保育所の定員枠の拡充を引き続き目指す必要があるほか、民間学童保育の受け入れ枠の拡充も視野に入れる必要がある。	
①-3	学童保育所施設維持管理事業	【実績】・真美ヶ丘東学童保育所の運営を開始したので空調を設置した。 ・R7年度から志都美小学校内へ移転するため、照明の交換や出入口の改修を実施した。 ・旭ヶ丘第1学童保育所を旭ヶ丘小学校内に移転し、移転後は学童保育所を除却し保護者送迎用駐車場とする。 【課題】・小学校の特別支援教室などを学童保育所として使用するため、教室の移動や配置の検討など学校側の負担が発生する。	A	90 77 95	現状維持 現状維持	・評価指標は達成できる見込みであるため、成果・コストともに現状維持とする。 ・令和7年度において下田学童保育所を修繕する予定であり、そのための予算措置は必要と考えられるが、「香芝市個別施設設計画、第1期アクションプラン(2017～2026)」内に記載されている中規模修繕に則ったものであるため、成果・コストともに拡充とはしない。	
②-1	青少年体験交流事業	◎子どもフェスティバル 【実績】参加者数は3685名となり、昨年度を上回る過去最高を記録する盛況であった。 【課題】ふれあいフェスタとの連携を意識して、実行委員会の段階から足並みをそろえるようにしたが、細かい部分では連絡調整の不足が見られた。さらなる連携強化が望まれる。 ◎体験学習 【実績】年3回の体験学習を実施(2回実施、1回は3月に実施予定)。今年も定員以上の応募があり青少年が普段学校では体験できないような、自然体験、工作体験を実施。日常とは違った環境での体験を通して、初めて出会う参加者同士の交流による社会性の涵養等の機会創出を図った。実施後の参加者アンケートも満足度は高かった。 【課題】応募状況より、ニーズや重要性は高いと考えるが、運営側の人員不足やコストの面で、参加者数や回数を現状より増やすことは難しい。	A	75 72 77	現状維持 現状維持	【成果の方向性】子どもフェスティバルは「個別事業の方向性」で示されたとおり、ふれあいフェスタとの統合等を図ることで、コスト削減を図るだけでなく、より一体的なイベントとして、市民の満足度の高い実施を目指す。情報化が進むとともに、スマホや携帯ゲーム機の普及、地域の公園での運動制限など、子ども達の運動環境は縮小している。そのような時代において、自然や多様な人との関わり・体験は貴重なものとなっており、市民からの需要とニーズは高くなっているため、引き続き様々なニーズに即した事業を行って行く。 【コストの方向性】コストを維持しながら、内容の充実を図っていく。	教育部 生涯学習課

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 64-65 ページ)

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	14 文化芸術の振興・多文化共生

★目指す姿

多種多様な文化活動が活発に行われ、さまざまな文化が共生する、個性豊かなまちが形成されている。

SDGs該当分野

4質の高い教育をみんなに

10人や国の不平等をなくそう

17パートナーシップで目標を達成しよう

※網掛け部分は、「市長の権限に属する事務」です。

■施策の主な取り組み

① 文化の発信・創造・交流の支援

多くの市民がさまざまな文化に触れ、多様な見識や価値観を養うことのできる機会を創出します。また、市民の自主的・創造的な文化活動を支援し、文化振興につなげます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	文化施設管理・運営事業	指定管理者制度による文化施設の維持管理を行い、効率的な運営体制を構築します。また、施設の機能性の向上やイベント開催を通じて、市民の文化活動を促進します。	●
①-2	地域交流センター管理・運営事業	指定管理者制度による地域交流センターの維持管理を行い、効率的な運営体制を構築します。また、施設の機能性の向上やイベント開催を通して、地域での市民交流を活性化します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
				R6	R10	R14		目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
ふたかみ文化センター稼働率	%	年間稼働枠数／年間利用可能枠数	44.2	45	48	50	38.8	45	33.7	39.3	87.3%	教育部 生涯学習課
ふたかみ文化センター利用者数	人	ふたかみ文化センターの利用者数	89,790	97,000	105,000	108,000	72,988	97,000	31,704	72,238	74.5%	教育部 生涯学習課
地域交流センター稼働率	%	年間稼働枠数／年間利用可能枠数	23.6	25	30	35	28.0	29	29.0	30.4	104.8%	市民環境部 市民協働課
地域交流センター利用者数	人	地域交流センターの利用者数	48,620	55,000	66,000	77,000	54,600	55,000	31,209	62,188	113.1%	市民環境部 市民協働課

② 多文化理解と国際交流の推進

国際理解を通じて、さまざまな文化の在り方や考え方、価値観、感じ方の違いを認め合える風土を醸成します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	文化・国際交流活動事業	国際交流活動を行っている市民、地域団体、事業者等と連携し、セミナーやイベント等を開催します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
				R6	R10	R14		目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
国際交流事業実施回数	回	国際交流事業の実施回数	2	3	4	4	4	3	1	2	66.7%	市民環境部 市民協働課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	文化施設管理・運営事業	◎文化施設の運営、維持管理 他 【実績】 ・施設の運営については、指定管理者と随時の調整や年度4回の連絡調整会議により情報共有、協議を図っている。指定管理者による講座、イベント、コンサート等については、多種多様に企画いただき、広報等による周知も実施している。利用者のアンケート結果等についても好評であるので、引き続き市民に文化・芸術に触れる機会を創出いただけるよう連携して進めていく。 ・文化施設の維持管理については、全館照明設備LED化を進めており、今年度末に完了予定。市民ホールのプロジェクター、有孔ボードの更新を実施。また電話交換器の更新も今年度末に完了予定。 ・次期指定管理者の選定を実施し、現指定管理者を来年度以降も3年間、引き続き指定することになった。 【課題】 ・稼働率、利用者数とも、微減となっている。 ・施設は築34年経過し、全体に老朽化しているが、特に設備の老朽化が進んでおり、利用者にとって満足度の高い施設運営となっていない。公共施設再編の動向と協調しながら、施設の更新を図っていく必要がある。 ◎かしばアートweeeeeeek(美術展覧会) 【実績】 今年度で3回目の開催となるが、美術展覧会では144品の出品、569名の来場者があった。チャレンジアート(障がい者の作品展)や指定管理者や図書館、博物館と協力した文化芸術イベントを開催。 【課題】 美術展覧会は、ふたかみ文化センター照明工事期間であったことから、昨年同様公民館と文化センター2施設にまたがって開催。アンケートで2会場間の移動が不便という声もあり、次年度はふたかみ文化センター1施設開催を検討している。	A	72	現状維持	【成果の方向性】 ・文化施設については、老朽化に対応する必要があるが、施設の複合化に関する方針により、今後の対応が異なることもあり、その状況により臨機応変に対応が必要となる。 ・かしばアートweeeeeeek(美術展覧会)は一昨年開催後、好評であり、文化芸術に対する市民のニーズも高いことから、引き続き事業内容を改善しながら指定管理者とともに事業を進めていく。現在中央公民館と2箇所開催である美術展覧会については、来場者の利便性向上のため、ふたかみ文化センター1施設で開催を検討し、来場者増を図っていく。 【コストの方向性】 ・文化施設の維持管理については老朽化に対応するためコスト増の方向性である。 ・アートweeeeeeekについてはコスト維持を図りながら事業内容の更新、見直しも行っていく。 ・指定管理については、物価、人件費高騰により指定管理料が上昇となるため、コスト増の方向性である。	教育部 生涯学習課
①-2	地域交流センター管理・運営事業	【実績】 ・指定管理者による施設の運営、維持管理が適正に行われた。 ・利用者は目標値を上回っており、また、昨年度より実施している自主事業(こども食堂)を継続して実施したことにより、利用促進が図られた。 【課題】 ・避難器具等設置工事は年度末に完了予定。 ・他施設と比較すると比較的新しい施設ではあるが、供用開始から7年が過ぎ、予防的観点をもった日常点検を行う必要がある。	A	95 85 90	現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・施設の設置目的である「地域住民の相互交流を促進」について、地縁団体としての強みを活かして令和6年度より新たな自主事業に取り組んでいただいている。 【コストの方向性】 ・供用開始から6年が過ぎ、他の施設と比較すると新しい施設ではあるが、予防的観点をもった日常点検によりコスト維持に努める必要がある。	市民環境部 市民協働課
②-1	文化・国際交流活動事業	【実績】 ・国際交流セミナーを2回(8月、1月)開催した。参加人数:28名 【課題】 ・昨年度のCIRの退任に伴い、今年度は開催回数や発信数が減少したため、少ない回数でより多くの人に啓発できるよう、周知方法や開催内容について検討が必要。	A	75 59 82	現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・市民の国際理解・国際交流を促進するため、国際交流啓発セミナーを継続して実施するが、令和5年7月末のCIR退任に伴い、昨年度は4回開催しているが2回に縮小する。 【コストの方向性】 ・講座回数は減少するが、昨年度まではCIRが講師として講座を開催していたので、講師謝礼がかからなかったため現状維持。	市民環境部 市民協働課

■施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・目指す姿である「多種多様な文化活動が活発に行われる」ことを実現するため、指定管理者との連絡調整を図りながら、ハード、ソフト両面での充実を図っていく。 ・引き続き指定管理者との連携を取り、適切な貸室事業や自主事業を通して、地域住民の相互交流を促進する。 ・国際交流セミナーは昨年度と同様、満足度は約9割となっていたため、現状の方向性で施策を維持していく。
---------	---

担当課評価

A	3	事業
B	0	事業
C	0	事業

成果の方向性

拡充	0	事業	拡大	0	事業
現状維持	3	事業	現状維持	3	事業
縮小	0	事業	縮小	0	事業
休廃止	0	事業	休廃止	0	事業

令和6年度 行政評価 3視点評価シート

施策名 14 文化芸術の振興・多文化共生

評価の視点	評価項目		回答方法補足	①-1	①-2	②-1					
				文化施設管理・運営事業	地域交流センター管理・運営事業	文化・国際交流活動事業					
事業の必要性	需要度	当該事業に対する住民ニーズは低い、もしくはニーズへの対応は完了している。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	ややあてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない					
	量的適正性	成果の精度やサービスの供給量が、必要とされる範囲を超過している。		ややあてはまる	あてはまらない	ややあてはまらない					
	影響度	事務事業を取り止めた場合でも、住民の生活や市政の満足度に影響はない。		あてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない					
	主体性	必ずしも市が実施する必要がなく、国・県・民間・他の部局等に類似した事務事業がある。		ややあてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない					
	緊急性	現状、市の課題や問題になっているわけではなく、緊急性が高い事業ではない。		ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない					
事業の有効性	達成度(単年)	評価指標の単年度目標は達成できる見込みである。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	ややあてはまる	あてはまる	ややあてはまる					
	達成度(長期)	評価指標の最終目標(R6目標値)は達成できる見込みである。		ややあてはまらない	あてはまる	ややあてはまる					
	質的向上	数値化できない効果も含み、住民サービスの質的向上が見られる。		ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない					
	施策貢献度	事業の成果が総合計画の施策の目的達成に貢献している。		あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる					
	実現性	事業の将来的な理想形や目標とする姿があり、実現に向けて順調に進捗している。		ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない					
事業の効率性	生産性	事業の実施方法や内容の見直しによって、成果を大きく向上することができる。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	ややあてはまる	ややあてはまらない	ややあてはまる					
	コスト効率(事業費)	新たに民間委託や他の委託先への委託等により、事業コストの削減が可能である。		ややあてはまらない	あてはまらない	あてはまらない					
	コスト効率(人件費)	契約や人員の見直し等により、人件費の削減が可能である。		ややあてはまらない	あてはまらない	あてはまらない					
	事務効率性	システム導入等の電子化によって、事務効率の向上及びコスト削減の余地がある。		ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない					
	コスト意識	国や県、その他公的組織の事業費補助等について、特に情報収集を行っていない。または、活用できる制度があるが、利用できていない。		あてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない					

選択肢(各視点ごとに5項目)	配点
あてはまる(あてはまらない)	20
ややあてはまる(ややあてはまらない)	15
ややあてはまらない(ややあてはまる)	7
あてはまらない(あてはまる)	0



▼自動計算(各100点満点)

必要性の点数	72	95	75	0	0	0	0	0
有効性の点数	72	85	59	0	0	0	0	0
効率性の点数	64	90	82	0	0	0	0	0

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	15 生涯学習とスポーツ活動の充実

★目指す姿

いつでも、どこでも、誰でも、楽しく生涯学習やスポーツに取り組むことができる環境が整っている。



■施策の主な取り組み

① 生涯学習機会の充実

「いつでも、どこでも、誰でも」学べる生涯学習社会の実現に向けて、多様な講座を開催するなど学習できる機会と場の充実を図るとともに、成果を生かせる場づくりを行います。併せて生涯学習関係団体の育成・交流を促進します。

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
中央公民館利用率	%	年間稼働枠数／年間利用可能枠数	32.2	35	35	35
中央公民館利用者数	人	中央公民館の利用者数	69,098	70,000	72,000	74,000

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	生涯学習機会提供事業	美術展覧会、生涯学習講演会等の各種講座を開催します。また、生涯学習関係団体の育成・交流の環境づくりを行います。	●

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
28	35	27	30	85.7%	教育部 生涯学習課
50,457	70,000	22,674	55,221	78.9%	教育部 生涯学習課

② スポーツ活動の充実

地域のスポーツ・レクリエーション関係団体等の多様な主体と協働し、スポーツできる機会と場の充実を図るとともに、総合体育館、健民グラウンド等のスポーツ施設の利用を促進します。

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
社会体育施設利用率	%	年間稼働枠数／年間利用可能枠数	48.7	51	51	51
社会体育施設利用者数	人	社会体育施設の利用者数	181,146	220,000	230,000	240,000

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	スポーツ活動支援事業	さまざまなスポーツ・レクリエーション教室、イベント等を通年、開催します。また、研修会等の開催によりスポーツ・レクリエーション関係団体の育成を支援します。	●

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
54.3	51	51.3	52	102.0%	教育部 生涯学習課
229,940	220,000	106,956	213,523	97.1%	教育部 生涯学習課

③ 図書館機能の充実

市民が幅広い知識や情報を得て、心豊かでいきいきとした人生を送るため、図書館資料や情報の提供だけでなく、学習や活動の場の提供等も行いながら、読書の普及啓発と図書館の利用促進を図り、地域の拠点となる図書館づくりを進めます。

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
蔵書回転率	回	年間貸出冊数／蔵書冊数(蔵書1冊当たりの貸出回数)	1.7	1.8	1.9	2.0
市民図書館来館者数	人	市民図書館の来館者数	—	154,000	159,000	168,000

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	資料情報提供事業	図書・視聴覚資料等の資料や情報を収集・保存し、提供します。また、図書館の利用が困難な方等には、読書サポート等のサービスの充実を図るとともに、電子書籍の充実や移動図書館車「ぶっくる号」の巡回等により、利用環境の整備を推進します。	●
③-2	読書普及活動事業	図書館でおはなし会や読み聞かせ会等を開催するほか、学校・幼稚園・保育所等を訪問し、ブックトークやおはなし会等を行います。また、各種講座、さまざまな展示イベントを開催します。	●

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
1.6	1.8	0.8	1.6	88.9%	教育部 市民図書館
186,044	187,000	98,984	186,042	99.5%	教育部 市民図書館

■実施する主な事業の評価

No.	事業名		今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
	今年度の事業実施計画		実績と課題		3視点	所管判定	方向性の内容(改善策)	
					担当課 評価 (A/B/C)	必要性 有効性 効率性	成果の方向性 コストの方向性	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入
①-1	生涯学習機会提供事業		◎夏のかしばアカデミー 【実績】 講師募集は定員の30枠を超える応募があり、最終は増枠し38講座を実施。 また今回課外授業として2講座実施し、合計40講座を開講した。 受講生は、未就学児から80歳代まで計717人の申込みがあり、当日は計562人のかたに参加いただいた。 【課題】実施後のアンケートでは多くの方に満足いただいており、「定期的に何度も主催してほしい。」「とても魅力的な講座がたくさんあって参加できて嬉しかったです」などの意見があり、幅広い層の人々に学びについて考えてもらう機会になったと評価する。また講師も自身の学びを活かす機会になり、生涯学習基本計画の目指す、学びの場、学んだことを活かす機会の創出につながったと評価する。			67	現状維持	【成果の方向性】 ・今年で2回目の開催となった「夏のかしばアカデミー」では、市民が講師となり、自身の得意なことを、学びたい市民に教えるという取り組みを行い、生涯学習基本計画の基本目標である「学び」機会の提供と、学んだことを「活かす」機会の提供を行うことができ、非常に好評であった。また今年度は課外授業も開催し、初開催の前回より多くの授業を開催する事ができた。引き続き計画の基本目標を達成するため、改善を行いながら、本事業を実施していく。 社会教育関連団体の育成においては、各団体とも構成員の減少により存続が難しくなっている団体もいるが、人員増を図りながら、新たな活動形態を検討していく。 【コストの方向性】 ・「夏のかしばアカデミー」はコスト(人件費)がかかる事業であるが、動員の効率化などによりコストの削減を行っていく。 ・社会教育関連団体・学級については、コスト維持の方向性である。
			・夏のかしばアカデミー 市民同士で得意なことを教えあう講座を8/25に初開催。39講座を中央公民館と総合体育館にて1日で実施。5月講師募集、7月受講生募集、8月開催。 ・家庭教育学級 市内各小・中学校の家庭教育学級生の補助金手続きや研修等を行う。4月学級生募集を行い、年3回の役員会及び合同研修会を実施。 ・社会教育学級及び関連団体 社会教育学級及び市内社会教育関連団体に対する補助金支給を行う。 ・社会教育委員会 年3回、社会教育委員会を開催し、市の社会教育に対し意見をもらう。また各種研修会、県関連行事の委員との調整や参加を行う。		A	72	現状維持	
						77		

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点	所管判定	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点について は、現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
				必要性 有効性 効率性	成果の方向性 コストの方向性			
今年度の事業実施計画								
②ー1	スポーツ活動支援事業	◎スポーツ推進委員 【実績】 各種研修への参加の他、ニューススポーツデイの実施。また昨年度に引き続き放課後子ども教室への派遣事業を行い、4小学校に外向きの放課後の子どもたちに、体を動かすことの楽しさを知ってもらう体験事業を行った。 【課題】 今後はさらに地域へ外向き、子どもからお年寄りまで、体を動かすことのきっかけ作りを広げていく。 ◎ニューススポーツデー 【実績】 ポッチャや、キンボール、軽スポーツなどあらゆる世代が気軽に楽しめるニューススポーツ体験イベントを開催。定員数を上回る申し込みがあり、128名の参加があった。アンケートにおいても「満足」という回答が多く、中には「中度知的障害の子どもも楽しめました」という意見もあり、多様な方に体を動かしてもらうきっかけとなった。 【課題】 定員を上回る応募があり、すべての方の希望に応えられていない。	A	85	拡充	【成果の方向性】 ・スポーツ推進委員事業については、昨年度より地域でのスポーツ普及を目指し、地域への派遣事業を行っており、好評である。引き続き、地域への派遣事業の制度化を行い、スポーツ普及を図っていく。 ・各スポーツイベントについては、競技力の向上や、スポーツを行う機会や機運の拡大のため、事業を拡大し実施しているが、想定を大幅に上回る申込があり、スポーツに対する需要の高さがうかがえた。引き続き、より多くの方にスポーツを行う機会を創出するため、全体の事業としては拡充する方向である。 ・スポーツに関する需要は非常に高いため、適切な指定管理事象及び改修・修繕・備品購入によりに満足度を高め、利用環境の向上を図る。 【コストの方向性】 体育施設については、概ね長寿命命化改修等を実施できたことから、今後コストについては削減する方向である。指定管理料については、コスト維持となる。 スポーツイベント事業については、需要の高さに応えるため、コスト増の方向性である。	教育部 生涯学習課	
		◎市町村対抗子ども駅伝 【実績】 これまでは市マラソン大会にて選考を行っていたが、昨年度に引き続き今年度も選考会を2回実施し、8名のランナー選出した。 1月～3月にかけて練習会を実施。 3月8日本番。 【課題】 選考会に参加し、香芝市の駅伝チームの代表になりたいと思う子どもたちの掘り起こしが必要。 ◎かしばスポーツweeeeeeek 【実績】 7月に奈良県を拠点として活動するBリーグクラブであるバンビシャス奈良の現役選手やコーチ・アンバサダーが、実技をメインとして子どもたちにバスケットボールを教える教室を開催した。定員60名のところ199名の応募があったため、参加可能定員数を100名へ拡大し(最終のシュート大会のみ)、当日は75名の参加があった。 9月に奈良県初のBリーグクラブである奈良クラブの現役選手・コーチが実技をメインとして子どもたちにサッカーを教える教室を開催した定員60名のところ143名の応募があり、大盛況であった。 10月に、スポーツ活動に馴染みのない市民にも参加しやすいスポーツアトラクション事業と体力測定会を開催した。定員を大幅に超える 名の申し込みがあり、抽選後236人が参加した。子どもから高齢者まで非常に幅の広い市民が、ストラックアウトやパブルボール、ストラックライン等様々なアトラクションを体験した。 本事業は、企業版ふるさと納税およびスポーツ振興くじ助成金を活用し実施しており、財源の確保をしながら、多くの方に満足度の高い事業となっているため、今後も継続して実施していきたい。 【課題】 応募数の多さから関心の高さがうかがえた反面、落選となった申込者については需要の取りこぼしとなってしまったため、来年度以降も継続、また2回開催等拡大した開催の検討が必要である。 ◎施設改修 【実績】 北部地域体育館の長寿命命化改修工事及び外部トイレ洋式化工事は10月末に竣工し、11月より快適な環境で利用いただいており、好評である。また総合体育館観客席正面入口前修繕工事は2月末に完了予定。タイル割れ・隆起などの危険な箇所を改修し、安全な環境を提供できている。 【課題】 特になし						
③ー1	資料情報提供事業	【実績】 ・今年度も、継続して、市民図書館の蔵書更新を行い、電子図書館では、児童書読み放題パックを3種類導入した。市民図書館の蔵書新鮮度は、概ね例年通りとなった。 ・図書館システムの更新を11月に行い、LINEの画面上で図書館のWebサービスが利用できる「LINE連携」や読書記録が可能な「My本棚」等、Webでのサービスを中心に新機能を追加した。「LINE連携」開始に伴い開設した市民図書館公式LINEアカウントの登録者は、開始から3ヶ月で400人を突破した。 ・バリアフリーサービスでは、高齢の登録者が増加傾向にあり、登録者の貸出冊数も増加した。 【課題】 ・蔵書更新は継続的に行っているが、書庫の狭小化により、更新に支障をきたすようになってきた。これが利用減少の要因の一つともいえるので、利用頻度が低下した図書の新機軸的な除籍が必要である。 ・電子図書館では、コンテンツの回転率は高水準を維持しているが、利用数が減少している。コンテンツの定期的な購入と特集のメンテナンス、イベント等を実施することで、電子図書館の周知と利用の向上を図る必要がある。	B	90	現状維持	【成果の方向性】 ・昨年度、蔵書更新を進めた結果、児童書の貸出冊数が対前年度比で4％増加した。しかし、人口当たりの目安とされる新鮮度の6分の1であり、今後も市民に新鮮な情報を提供するため、継続的に蔵書更新を進めていく必要がある。 ・電子図書館では、読み放題コンテンツや音声コンテンツを中心に資料整備を行ったところ、閲覧回数が増加する結果となった。一般向けでは、読書バリアフリーを意識したものを中心に入れたが、利用率が減少傾向にあり、利用が見込まれるものを厳選していくことで、利用率の上昇につなげていく。 ・読書バリアフリー事業では、わずかであるが、登録者が増加し、サビエ図書館を活用して資料提供を行っている。引き続き、機会を捉えて周知を図っていく。 【コストの方向性】 ・現在、既にカウンター業務やブックポスト回収等の業務を委託しているが、昨今の人件費や物件費高騰によりコストは増加傾向にある。委託業務の内容を精査し、その上昇幅の抑制に努めるが、コストの上昇は避けられないことからコストの方向性を拡大とする。	教育部 市民図書館	
		82						
		74						
③ー2	読書普及活動事業	【実績】 ・児童向けの定例行事では、「えほんたいむ」の平均参加者数が前年度よりも増加したが、「おはなし会」は年度後半に参加者数が減少し、平均参加者数も前年度より減少した。 ・学校園との連携では、図書館見学・学級訪問(ブックトーク・おはなし会)とも、昨年度よりも増加した。また、「絵の本ひろりば(絵本等の読み合い活動)」を実施する施設が昨年度よりも増え、それに伴い、必要な図書や展覧会の貸出数も増加した。 【課題】 ・「えほんたいむ」について、読み手のボランティア不足等もあり、開催日数を減らしたが、元に戻して欲しいとの声もあるため、読み手の確保が課題である。また、参加者が減少している「おはなし会」は、多くの市民が来館している時間帯に開催時間を変更すること等で参加者数の増加を図っていく必要がある。	B	80	現状維持	【成果の方向性】 ・児童向け定例行事平均参加者数は昨年度より増加傾向にある。一般向けの講座等のイベントについては、内容を厳選していることあり、全体の参加者数が減少傾向にあるが、ボランティアとして活動される方の増加等のイベント参加者数だけでは測れない効果が出ていることから、一定の成果のあったと考えており、継続して実施する。 ・幼保こども園への巡回文庫は利用が順調で既に定着したものと捉えている。また、市立小中学校への団体貸出冊数や学級訪問依頼件数も堅調に推移しており、各校の図書館担当者や学校司書との連携を強化することで、引き続き、身近に本がある環境を整備していく。 ・11月より稼働予定の新システムの新機能である読書推進機能やLINE連携を新たな材料とし、市民図書館ホームページを情報発信ツールとして積極的に活用する。 【コストの方向性】 ・ボランティアとの連携協力や内容を厳選して事業を実施していることから、更なる効率化は困難であり、現状維持とした。	教育部 市民図書館	
		72						
		82						
・各種イベントや図書のテーマ展示の実施 ・講座開催によるボランティア等の養成と資質向上 ・学校園等との連携による子どもの読書関連事業の実施 ・広報やホームページ等での図書館情報の発信								

■施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・目指す姿である「いつでも、どこでも、誰でも、楽しく生涯学習やスポーツに取り組むことができる環境を整える」ことを実現するため、生涯学習基本計画の基本目標である「学ぶ」機会及び「学んだことを「活かす」」機会の提供、そして学ぶ環境の充実を図っていく。 ・蔵書の新陳代謝を促進し、多くの市民が気軽に市民図書館を利用できるよう環境を整備するとともに、学校園や福祉施設等との連携の継続、寄贈図書等を活用したサービスポイントの設置、電子図書館サービスの実施により身近で読書ができる環境の創出を図り、図書館利用につなげていく。
---------	---

担当課評価		
A	2	事業
B	2	事業
C	0	事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	1 事業	拡大	2 事業
現状維持	3 事業	現状維持	2 事業
縮小	0 事業	縮小	0 事業
休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

令和6年度 行政評価 3視点評価シート

施策名 15 生涯学習とスポーツ活動の充実

評価の視点	評価項目		回答方法補足	①-1	②-1	③-1	③-2				
				生涯学習機会提供事業	スポーツ活動支援事業	資料情報提供事業	読書普及活動事業				
事業の必要性	需要度	当該事業に対する住民ニーズは低い、もしくはニーズへの対応は完了している。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	ややあてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない				
	量的適正性	成果の精度やサービスの供給量が、必要とされる範囲を超過している。		ややあてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない				
	影響度	事務事業を取り止めた場合でも、住民の生活や市政の満足度に影響はない。		ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				
	主体性	必ずしも市が実施する必要がなく、国・県・民間・他の部局等に類似した事務事業がある。		ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
	緊急性	現状、市の課題や問題になっているわけではなく、緊急性が高い事業ではない。		ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
事業の有効性	達成度(単年)	評価指標の単年度目標は達成できる見込みである。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	ややあてはまる	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる				
	達成度(長期)	評価指標の最終目標(R6目標値)は達成できる見込みである。		ややあてはまらない	ややあてはまる	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
	質的向上	数値化できない効果も含み、住民サービスの質的向上が見られる。		ややあてはまる	ややあてはまる	あてはまる	ややあてはまる				
	施策貢献度	事業の成果が総合計画の施策の目的達成に貢献している。		あてはまる	あてはまる	あてはまる	あてはまる				
	実現性	事業の将来的な理想形や目標とする姿があり、実現に向けて順調に進捗している。		ややあてはまる	ややあてはまる	あてはまる	ややあてはまる				
事業の効率性	生産性	事業の実施方法や内容の見直しによって、成果を大きく向上することができる。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる				
	コスト効率(事業費)	新たに民間委託や他の委託先への委託等により、事業コストの削減が可能である。		ややあてはまらない	ややあてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				
	コスト効率(人件費)	契約や人員の見直し等により、人件費の削減が可能である。		ややあてはまらない	ややあてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				
	事務効率性	システム導入等の電子化によって、事務効率の向上及びコスト削減の余地がある。		あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	ややあてはまらない				
	コスト意識	国や県、その他公的組織の事業費補助等について、特に情報収集を行っていない。または、活用できる制度があるが、利用できていない。		あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				

選択肢(各視点ごとに5項目)	配点
あてはまる(あてはまらない)	20
ややあてはまる(ややあてはまらない)	15
ややあてはまらない(ややあてはまる)	7
あてはまらない(あてはまる)	0



▼自動計算(各100点満点)

必要性の点数	67	85	90	80	0	0	0	0
有効性の点数	72	85	82	72	0	0	0	0
効率性の点数	77	72	74	82	0	0	0	0

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	16 歴史文化財の保存と継承・展開

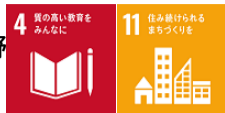


目指す姿

気軽に文化財について学習できる環境が整備されており、文化財を通じて、まちに愛着と誇りが持てている。



SDGs該当分野



施策の主な取り組み

① 二上山博物館機能の充実

地域の歴史・文化を学習する拠点として、また情報発信の拠点として、二上山博物館の機能を充実させます。

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
博物館入館者数	人	二上山博物館の入館者数	7,479	8,000	8,500	9,000
博学連携参加者数	人	博学連携参加者数	758	800	850	900

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	博物館活性化事業	博物館DX化推進事業により、誰もが楽しく学び、知的体験を享受できるデジタルミュージアムの実現を目指します。また、特別展や講演会・講座の開催、学校との連携による博学連携教育の推進等、多様な年齢層へ本市の歴史文化財の魅力向上に繋げる事業を展開します。	●

② 文化財の保護・啓発

文化財を後世に保存・継承するために必要な措置を講ずるとともに、文化財の魅力を発信して、活用及び啓発を行います。

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
指定文化財の件数	件	国・県・市指定文化財の件数(累計)	42	43	44	45
史跡公園利用者数	人	尼寺廃寺跡学習館の利用者数	1,585	1,600	1,650	1,700

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	文化財保護啓発事業	市内にある文化財の基礎資料の収集・蓄積、遺跡の保護等を行います。また、歴史講座やイベントの開催により、文化財・遺跡の活用を図り、広く普及・啓発活動を行います。	●
②-2	市史編纂事業	市史編さん委員会委員の人選を行い、編集方針や内容・構成などの市史編纂に伴う基本計画を策定するとともに、執筆編集を行う市史編纂委員会の委員の人選を進め、市史編纂に向けての組織体制を整備します。	

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点	所管判定	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点について は、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
				必要性 有効性 効率性	成果の方向性 コストの方向性		
①-1	博物館活性化事業	【実績】 ・博物館DX化事業において、「視覚」にうったえる博物館としての機能を強化したことにより、利用者の展示内容への理解が深まった。 ・博学連携教育において、地元の園児・児童また生徒の来館者が増え、また、連携事業によって興味を深めた子どもたちが、家族連れで再度来館するなど、市民の郷土の歴史への興味・関心が増加した。 【課題】 ・継続した普及・啓発を図り、再訪者を含めた来館者の増加を図ることが課題である。	A	75 74 80	現状維持 拡大	【成果の方向性】 ・昨年度に博物館DX化を行い、入館者に対し視覚にうったえる博物館として機能していると考えられる。 ・博学連携においては、地元の幼稚園児や小学校児童に、歴史が伝わるよう、努めている。児童については、事前にオンラインで学習の機会をもうけ、深く理解してもらえるよう努めている。 【コストの方向性】 ・コスト面においては、プロジェクションマッピング等の博物館DX化の維持に向けて、機械の保守点検が拡大する見込みである。	教育部 文化財課
	文化財保護啓発事業	【実績】 ・尼寺廃寺跡史跡公園では博学連携教育や本課主催事業(アドベンチャー教室、市民の歴史講座等)により、認知度が上昇している。 ・文化財保護指導委員や課員により文化財の巡視活動により指定文化財の破損・盗難は皆無であった。 ・遺跡の無届行為による開発は皆無であった。 ・日本遺産「葛城修験」は認定5周年の記念事業として、中央公民館でパネル展を実施し、普及・啓発に努めた。 【課題】 ・市内に所在する文化財を活用した、本市への来訪者の誘致や利用促進の強化を図っていくことが課題である。	A	75 85 80	現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・指定文化財の保護・管理については、保護審議会の助言を得ながら、適切に進める必要があると考えられる。 【コストの方向性】 ・歴史講座や地域学習講座等を開催し、市民に香芝の文化財により興味・関心を持っていただけるように取り組みを進める必要があると考えられる。	教育部 文化財課
②-2	市史編纂事業	【実績】 ・今年度は、市史編さん委員会を2回開催し、各支部の部会長の選出について審議した。 ・五位堂鐫物師資料を後世に継承していくための調査、保存作業を進め、資料の全体的な把握に努め、概ね完了した。 【課題】 ・部会長の選出が難航し、編集委員会の開催に至らなかった。次年度以降、円滑な事業の進捗にむけて速やかに取り組む必要がある。	B	85 85 80	拡充 拡大	【成果の方向性】 ・来年度以降の本格的な編さん事業に向けて、委員会を開催し、意見のとりまとめをおこなった。 【コストの方向性】 ・成果、コスト共に今後の事業推進の観点から、拡大の方向性が適切と考えられる。 ・市史編さん委員会は、定期的開催し委員の意見を取り入れながら、スケジュールに沿って進める必要があると考えられる。 ・市史編纂委員会では、各部門のことに作業を行い、その中でスケジュール調整を定期的に行い、体制を整備する必要があると考えられる。	教育部 文化財課



施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・博物館DX化事業によって整備した博物館について、スポット展等と併せて広報・周知し、利用者のサービス向上を推進する。 ・博物館の展覧会や講演会・講座等を通じて、本市の文化財の普及啓発をおこない、文化財保護についての理解を図る。 ・市史編さん事業の円滑な業務遂行に向けて、必要な委員会を定期的に開催し、事業を進めていく。
---------	---

担当課評価	
A	2 事業
B	1 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	1 事業	拡大	2 事業
現状維持	2 事業	現状維持	1 事業
縮小	0 事業	縮小	0 事業
休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

令和6年度 行政評価 3視点評価シート

施策名

16 歴史文化財の保存と継承・展開

評価の視点	評価項目		回答方法補足	①-1	②-1	②-2					
				博物館活性化事業	文化財保護啓発事業	市史編纂事業					
事業の必要性	需要度	当該事業に対する住民ニーズは低い、もしくはニーズへの対応は完了している。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない					
	量的適正性	成果の精度やサービスの供給量が、必要とされる範囲を超過している。		ややあてはまらない	ややあてはまらない	あてはまらない					
	影響度	事務事業を取り止めた場合でも、住民の生活や市政の満足度に影響はない。		ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない					
	主体性	必ずしも市が実施する必要がなく、国・県・民間・他の部局等に類似した事務事業がある。		ややあてはまらない	ややあてはまらない	あてはまらない					
	緊急性	現状、市の課題や問題になっているわけではなく、緊急性が高い事業ではない。		ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない					
事業の有効性	達成度(単年)	評価指標の単年度目標は達成できる見込みである。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	ややあてはまらない	ややあてはまる	ややあてはまる					
	達成度(長期)	評価指標の最終目標(R6目標値)は達成できる見込みである。		ややあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる					
	質的向上	数値化できない効果も含み、住民サービスの質的向上が見られる。		あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる					
	施策貢献度	事業の成果が総合計画の施策の目的達成に貢献している。		あてはまる	あてはまる	ややあてはまる					
	実現性	事業の将来的な理想形や目標とする姿があり、実現に向けて順調に進捗している。		あてはまる	あてはまる	あてはまる					
事業の効率性	生産性	事業の実施方法や内容の見直しによって、成果を大きく向上することができる。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない					
	コスト効率(事業費)	新たに民間委託や他の委託先への委託等により、事業コストの削減が可能である。		ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない					
	コスト効率(人件費)	契約や人員の見直し等により、人件費の削減が可能である。		ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない					
	事務効率性	システム導入等の電子化によって、事務効率の向上及びコスト削減の余地がある。		ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない					
	コスト意識	国や県、その他公的組織の事業費補助等について、特に情報収集を行っていない。または、活用できる制度があるが、利用できていない。		あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない					

選択肢(各視点ごとに5項目)	配点
あてはまる(あてはまらない)	20
ややあてはまる(ややあてはまらない)	15
ややあてはまらない(ややあてはまる)	7
あてはまらない(あてはまる)	0



▼自動計算(各100点満点)

必要性の点数	75	75	85	0	0	0	0	0
有効性の点数	74	85	85	0	0	0	0	0
効率性の点数	80	80	80	0	0	0	0	0

(4) 令和6年度評価指標管理シート

施策 No.	評価種別	評価対象名	担当部局	担当所属	指標名	単位	評価の方向	評価の方向 (-)の 種別	算出方法(指標説明)	データの出典	単年・ 累計	指標 の種類	R1	R2	R3		R4			R5			R6						
													実績値 (年度末)	実績値 (年度末)	目標値	実績値 (年度末)	目標達成 度	目標値	実績値 (年度末)	目標達成 度	目標値	実績値 (年度末)	目標達成 度	目標値 (R6設定値)	当初目標値 (R2設定値)	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	R6目標値の変更理由 ※R6目標値を変更する場合に記載 (記載要領参照)
4	総合計画	学びの推進・支援	教育部	学校支援室	学校に行くのが楽しい子どもの割合	%	+		全国学力・学習状況調査(文部科学省)で「楽しいと思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した人数／全回答者数(小学校6年生・中学校3年生対象)	学校教育課 ※「全国学力・学習状況調査」より	単年	成果指標	84.0	－	84.1	79.4	94.4%	84.2	83	98.6%	84	80.9	96.3%	84.4	84.4	80.1	80.1	94.9%	
4	総合計画	学びの推進・支援	教育部	学校支援室	国語・算数(数学)の勉強が好きな子どもの割合	%	+		全国学力・学習状況調査(文部科学省)で「好き」「どちらかと言えば好き」と回答した人数／全回答者数(小学校6年生・中学校3年生対象)	学校教育課 ※「全国学力・学習状況調査」より	単年	成果指標	62.0	－	62.5	56.5	90.4%	63.0	56	88.9%	63	55.6	88.3%	64.0	64.0	58.1	58.1	90.8%	
4	総合計画	学びの推進・支援	教育部	学校支援室	国語・算数(数学)の平均正答率	%	+		全国学力・学習状況調査(文部科学省)で問題に正解した人数／全回答者数(小学校6年生・中学校3年生対象)	学校教育課 ※「全国学力・学習状況調査」より	単年	成果指標	65.0	－	65.5	63.9	97.6%	66.0	62	93.9%	66	63	95.5%	67.0	67.0	61.6	61.6	91.9%	
4	総合計画	学びの推進・支援	教育部	学校支援室	児童・生徒のICT活用を指導する能力	%	+		学校における教育の情報化の実態等に関する調査(文部科学省)で指導する能力4項目に対して「できる」「ややできる」と回答した教員数／全回答者数(市内小中学校教員対象)	学校教育課 ※文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」より	単年	成果指標	56.0	69.0	72.0	86.3	119.9%	90.0	86.3	95.9%	90	83.4	92.7%	85.3	61.0	－	82.3	96.5%	過去3年間の実績値はR2設定した目標値を達成している。今後も全国平均程度の指導力維持に努めるため、実績平均値を目標値に変更。
4	総合計画	安心して学べる教育環境の整備	教育部	教育総務課	小学校・中学校施設の長寿命化	%	+		長寿命化改修工事が完了した棟数(令和2年度からの累計)	教育総務課 ※香芝市学校施設等長寿命化計画(個別施設計画)より	累計	活動指標	0	0	0	0	－	0.0	0	－	0	0	－	0.0	0.0	0.0	0.0	－	
4	総合計画	安心して学べる教育環境の整備	教育部	教育総務課	学校トイレの洋式化	棟	+		トイレの洋式化改修工事が完了した便器数(累計)／改修工事対象便器総数	教育総務課 ※香芝市学校施設等長寿命化計画(個別施設計画)より	単年	活動指標	39.2	50.9	54.4	54.5	100.2%	59.1	59.6	100.8%	65.2	67.3	103.2%	68.4	68.4	72.7	76.9	112.4%	
4	その他	小学校施設維持管理事業	教育部	教育総務課	各小学校の改修工事	件	+		改修工事の件数	教育総務課	単年	活動指標	0	43	40	13	32.5%	15	16	106.7%	15	13	86.7%	15	0.0	14	19	126.7%	
4	その他	中学校施設維持管理事業	教育部	教育総務課	各中学校の改修工事	件	+		改修工事の件数	教育総務課	単年	活動指標	0	13	10	6	60.0%	10	3	30.0%	5	7	140.0%	5	0.0	9	12	240.0%	
4	その他	学力向上推進事業	教育部	学校支援室	教職員研修による資質能力の向上	%	+		教職員研修を受講した教職員にアンケートを実施し、満足度の指数を集計する	学校教育課	単年	成果指標	－	－	50	64.9	129.8%	65.0	77.6	119.4%	80	72.9	91.1%	65.0	65.0	81.1	81.1	124.8%	
4	その他	教育相談支援事業	教育部	学校支援室	関係機関と連携できている不登校児童生徒の割合	%	+		年間30日以上の不登校児童生徒数のうち、関係機関と連携している子どもの割合	学校教育課	単年	成果指標	42.5	51.2	45.5	51.3	112.7%	52.0	59.6	114.6%	60	52.4	87.3%	52.5	52.5	42.3	38.3	73.0%	
5	総合計画	地域ぐるみの子ども支援	教育部	生涯学習課	学校・地域パートナーシップ事業地域ボランティア参加者数	人	+		学校・地域パートナーシップ事業地域ボランティア年間延べ参加者数	生涯学習課	単年	成果指標	35,695	33,284	35,700	32,000	89.6%	25,000	35,021	140.1%	35,500	32,097	90.4%	36,000	36,000	－	29,215	81.2%	
5	総合計画	青少年の健やかな育成	教育部	生涯学習課	青少年交流事業参加者数	人	+		子どもフェスティバル及び青少年指導員協議会等による体験学習の参加者数	生涯学習課 ※社会教育委員会議事業経過報告事業集計	単年	成果指標	2,390	0	2,400	0	0.0%	2,000	54	2.7%	2,500	3,605	144.2%	2,500	2,500	62.0	3,741	149.6%	
5	総合計画	青少年の健やかな育成	教育部	生涯学習課	「少年の主張」作文参加割合	%	+		「少年の主張」作文応募者数／対象学年総数(小学校5・6年生及び中学校1・2・3年生)	生涯学習課 ※社会教育委員会議事業経過報告事業集計	単年	成果指標	83.8	74.9	84.0	91.0	108.3%	85.0	84.0	98.8%	85.0	81.2	95.5%	84.0	84.0	78.0	78.0	92.9%	
5	その他	学校・地域パートナーシップ事業	教育部	生涯学習課	地域未来塾、放課後こども教室の延べ実施学校数	校	+		学校・地域パートナーシップ 事業地域未来塾、放課後こども教室の延べ実施学校数	生涯学習課 ※学校・地域パートナーシップ事業補助金実績報告書	単年	成果指標	12	1	14	2	14.3%	8	4	50.0%	12	10	83.3%	14.0	14	12	12	85.7%	
5	その他	青少年体験交流推進事業	教育部	生涯学習課	体験学習の開催数		+		香芝市青少年指導員協議会による体験学習の開催数	生涯学習課 ※社会教育委員会議事業経過報告事業集計	単年	成果指標	3	0	3	0	0.0%	14	4	28.6%	4	4	100.0%	5	5	2	4	80.0%	
5	その他	青少年健全育成事業	教育部	生涯学習課	青パトの巡視回数		+		青少年センターで実施する下校等巡視、夜間特別巡視、祭礼巡視、県合同立入調査の実施回数	生涯学習課 ※青少年センター巡視日誌	単年	成果指標	51	53	55	50	90.9%	60	24	40.0%	55	32	58.2%	60	60	20	44	73.3%	
14	総合計画	文化の発信・創造・交流の支援	教育部	生涯学習課	ふたかみ文化センター稼働率	%	+		年間稼働枠数／年間利用可能枠数	生涯学習課	単年	成果指標	44.2	34.8	35.0	43.0	122.9%	44.0	39.5	89.8%	43	38.8	90.2%	45.0	45.0	33.7	39.3	87.3%	
14	総合計画	文化の発信・創造・交流の支援	教育部	生涯学習課	ふたかみ文化センター利用者数	人	+		ふたかみ文化センターの年間利用者数	生涯学習課	単年	成果指標	89,790	33,859	55,000	54,882	99.8%	60,000	64,291	107.2%	70,000	72,988	104.3%	97,000	97,000	31,704	72,238	74.5%	
14	その他	文化施設管理・運営事業	教育部	生涯学習課	自主事業実施回数	回	+		ふたかみ文化センターでの自主事業の年間実施回数	香芝市	単年	活動指標	73	50	70	59	84.3%	60	74	123.3%	75	75	100.0%	90	90	41	83	92.2%	
15	総合計画	生涯学習機会の充実	教育部	生涯学習課	中央公民館利用率	%	+		年間稼働枠数／年間利用可能枠数	生涯学習課 ※指定管理者からの報告	単年	成果指標	32.2	27.0	35.0	21.0	60.0%	35.0	24	68.6%	35	28	80.0%	35.0	35.0	27	30.0	85.7%	
15	総合計画	生涯学習機会の充実	教育部	生涯学習課	中央公民館利用者数	人	+		中央公民館の利用者数	生涯学習課 ※指定管理者からの報告	単年	成果指標	69,098	29,169	40,000	20,000	50.0%	30,000	31,374	104.6%	40,000	50,457	126.1%	70,000	70,000	22,674	55,221	78.9%	
15	総合計画	スポーツ活動の充実	教育部	生涯学習課	社会体育施設利用率	%	+		年間稼働枠数／年間利用可能枠数	生涯学習課 ※指定管理者からの報告	単年	成果指標	49	41	49	55	112.2%	60.0	54	90.0%	56.1	54	96.8%	51.0	51.0	51.3	52.2	102.4%	
15	総合計画	スポーツ活動の充実	教育部	生涯学習課	社会体育施設利用者数	人	+		社会体育施設の利用者数	生涯学習課 ※指定管理者からの報告	単年	成果指標	181,146	94,322	190,000	203,604	107.2%	247,200	205,625	83.2%	246,000	229,940	93.5%	220,000	220,000	106,956	213,523	97.1%	
15	総合計画	図書館機能の充実	教育部	市民図書館	蔵書回転率	回	+		年間貸出冊数／蔵書冊数(蔵書1冊当たりの貸出回数)	奈良県の公共図書館	単年	成果指標	1.7	1.4	1.4	1.8	128.6%	1.8	1.6	88.9%	1.7	1.6	94.1%	1.8	1.8	0.8	1.6	88.9%	
15	総合計画	図書館機能の充実	教育部	市民図書館	市民図書館来館者数	人	+		市民図書館の来館者数	図書館要覧	単年	成果指標	－	－	153,000	187,712	122.7%	189,000	185,882	98.4%	186,000	186,044	100.0%	187,000	154,000	98,984	186,042	99.5%	令和5年度に目標を達成したため、上方修正。
15	その他	生涯学習機会提供事業	教育部	生涯学習課	家庭教育学級人数	人	+		活動補助金申請書類	家庭教育学級別人数一覧(エクセル)	単年	成果指標	208	40	100	49	49.0%	3	4	133.3%	4	68	1700.0%	200	200	66	67	33.5%	
15	その他	生涯学習機会提供事業	教育部	生涯学習課	各種講座参加者数	人	+		かしはアカデミー、生涯学習講座参加者数	各申込受付簿(エクセル)	単年	成果指標	207	124	300	331	110.3%	550	406	73.8%	550	360	65.5%	600	0	562	562	93.7%	
15	その他	生涯学習機会提供事業	教育部	生涯学習課	美術展覧会作品出品数	点	+		美術展覧会目録	目録用(エクセル)	単年	成果指標	131	137	140	135	96.4%	350	141	40.3%	140	135	96.4%	140	140	－	144	102.9%	
15	その他	スポーツ活動支援事業	教育部	生涯学習課	スポーツ・レクリエーションイベント参加者数	人	+		スポーツイベント参加者数	ニュースポーツデー参加者数(メモ)、スポーツフェスティバル参加人数(メモ)、スポーツ教室参加者数(メモ)	単年	成果指標	817	0	400	0	0.0%	140	143	102.1%	800	461	57.6%	1,100	1,100	384	512	46.5%	

(4) 令和6年度評価指標管理シート

施策 No.	評価種別	評価対象名	担当部局	担当所属	指標名	単位	評価の方向	評価の方向 (-)の 種別	算出方法(指標説明)	データの出典	単年・ 累計	指標 の 種類	R1	R2	R3		R4			R5			R6						
													実績値 (年度末)	実績値 (年度末)	目標値	実績値 (年度末)	目標達成 度	目標値	実績値 (年度末)	目標達成 度	目標値	実績値 (年度末)	目標達成 度	目標値	当初目標値	中間値	実績値	目標達成度	R6目標値の変更理由 ※R6目標値を変更する場合に記載 (記載要領参照)
																									(R6設定値)	(R2設定値)	(9月末)	(年度末)	
15	その他	資料情報提供事業	教育部	市民図書館	蔵書新鮮度(図書)	%	+		受入冊数÷蔵書冊数×100	奈良県の公共図書館	単年	活動指標	2.1	2	2.2	2.1	95.5%	2.2	2.1	95.5%	3	3.7	123.3%	2.5	2.5	1.1	2.2	88.0%	
15	その他	資料情報提供事業	教育部	市民図書館	市民1人当たりの貸出冊数	冊	+		貸出冊数÷人口	奈良県の公共図書館	単年	成果指標	5.1	3.8	4	4.9	122.5%	5.0	4.5	90.0%	4.8	4.7	97.9%	5.3	5.3	2.3	4.6	86.8%	
15	その他	資料情報提供事業	教育部	市民図書館	レファレンス件数	件	+		年間のレファレンス(調査相談)の受付件数	奈良県の公共図書館	単年	活動指標	2,205	1,444	1,600	1,844	115.3%	1,900	1,596	84.0%	1,600	1,747	109.2%	2,400	2,400	821	1,492	62.2%	
15	その他	資料情報提供事業	教育部	市民図書館	団体貸出冊数	冊	+		年間の団体利用者に対する貸出冊数	奈良県の公共図書館	単年	成果指標	18,536	14,719	15,000	14,745	98.3%	16,000	14,425	90.2%	11,000	13,961	126.9%	19,500	19,500	8,086	18,223	93.5%	
15	その他	資料情報提供事業	教育部	市民図書館	電子書籍の貸出冊数	冊	+		「かしば電子図書館」における電子書籍の貸出冊数	図書館要覧	単年	成果指標	—	2,180	20,000	31,089	155.4%	32,000	18,899	59.1%	20,000	18,794	94.0%	35,000	35,000	6,207	10,801	30.9%	
15	その他	資料情報提供事業	教育部	市民図書館	図書館ホームページの蔵書検索ページへのアクセス件数	件	+		図書館ホームページの「簡単検索」・「詳細検索」のページへのアクセス数の合計	図書館要覧	単年	活動指標	—	—	—	—	—	—	—	868,000	895,308	103.1%	900,000	870,000	464,609	898,212	99.8%	R5年度に目標を達成しているため	
15	その他	読書普及活動事業	教育部	市民図書館	児童向け定例行事の平均参加者数	人	+		児童向け定例行事総参加者数÷児童向け定例行事総開催回数	図書館要覧	単年	成果指標	17.8	10.7	10	8.3	83.0%	8.5	7.9	92.9%	8	10.8	135.0%	18.0	18.0	12.3	12.0	66.7%	
15	その他	読書普及活動事業	教育部	市民図書館	一般向け講座等の参加者数	人	+		一般向け講座等の参加延べ人数の合計	図書館要覧	単年	成果指標	143	87	100	158	158.0%	165	509	308.5%	120	137	114.2%	170	170	54	87	51.2%	
15	その他	読書普及活動事業	教育部	市民図書館	図書館ホームページへのアクセス件数	件	+		図書館ホームページのトップページへのアクセス件数	図書館要覧	単年	成果指標	51,119	94,406	52,000	79,728	153.3%	80,000	67,299	84.1%	—	—	—	54,000	54,000	-	-	—	※R2年度は、新型コロナウイルスに伴う休館や一部利用制限の影響で例外的にアクセスが増えた。 ※「Google Analytics4」への移行に伴い、件数の計測が不可能となるため、R5年度以降は、中止。
16	総合計画	文化財の保護・啓発	教育部	文化財課	尼寺廃寺跡学習館等利用者数	人	+		尼寺廃寺跡学習館等の利用者数	生涯学習課(二上山博物館)	単年	成果指標	1,585	1,435	1,500	1,369	91.3%	1,500	1,566	104.4%	1,600	1,651	103.2%	1,700	1,600	683	1,673	98.4%	令和5年度に目標を達成したため、上方修正。
16	総合計画	博物館活性化事業	教育部	文化財課	博物館入館者数	人	+		博物館の入館者数	香芝市二上山博物館入館者数(香芝市二上山博物館)	単年	成果指標	7,750	4,196	5,500	6,400	116.4%	7,000	7,905	112.9%	8,000	8,277	103.5%	10,000	8,000	4,933	8,774	87.7%	令和5年度に目標を達成したため、上方修正。
16	その他	博物館活性化事業	教育部	文化財課	博物館事業利用者数	人	+		博物館事業の利用者数	香芝市二上山博物館イベント参加者数(香芝市二上山博物館)	単年	活動指標	10,118	4,471	6,000	7,125	118.8%	7,500	9,953	132.7%	10,000	9,571	95.7%	10,000	8,000	1,436	10,083	100.8%	前年度の実績値が目標値を上回ったため、上方修正した。
16	総合計画	博物館活性化事業	教育部	文化財課	博学連携利用者数	人	+		学校教育等の博学連携による博物館利用者数	博学連携参加者数管理シート(エクセル)	単年	成果指標	758	177	50	636	1272.0%	700	1,070	152.9%	1,100	1,359	123.5%	1,400	800	1,798	1,921	137.2%	令和5年度に目標を達成したため、上方修正。
16	総合計画	文化財の保護啓発事業	教育部	文化財課	指定文化財件数	件	+		国・県・市指定文化財の指定件数	香芝市内所在指定文化財シート(エクセル)	累計	成果指標	42	44	44	44	100.0%	45	43	33.3%	44	44	100.0%	44	42	44	44	100.0%	令和5年度に目標を達成したため、上方修正。また、適切な維持管理に努めることも重要であるため、R10目標値と同じにした。

(5) 令和6年度 主要な施策の成果報告書

- ・本市の令和6年度 主要な施策の成果報告書のうち、教育費の事務についての抜粋です。
- ・本文中の網掛け部分は、「市長の権限に属する事務」及び「教育委員会の権限に属する事務」を市長部局職員に補助執行させるもの」です。
- ・「※ 令和6年度市町村サポート一覧から活用した事業」の概要については、P37 から掲載順にまとめています。

8 款 教育費

1 項 教育総務費

1 目 教育委員会費

(単位：円)

事務事業名	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
(1) 教育委員会運営事務	2,058,586	0	0	0	2,058,586
(2) 教育活動支援事務	3,757,355	0	0	0	3,757,355
合 計	5,815,941	0	0	0	5,815,941

(1) 教育委員会運営事務（教育総務課）

決算額：2,058,586 円

(2) 教育活動支援事務（教育総務課）

決算額：3,757,355 円

2 目 事務局費

(単位：円)

事務事業名	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
(1) 事務局経費	312,043,760	0	0	6,693	312,037,067
(2) 教育委員会事務局事務	50,788,426	0	0	83,535	50,704,891
(3) 学校保健・安全推進事務	9,900	0	0	0	9,900
(4) 人事職員関係事務	4,885,477	0	0	0	4,885,477
合 計	367,727,563	0	0	90,228	367,637,335

- (1) 事務局経費（人事課） 決算額：312,043,760 円
- (2) 教育委員会事務局事務（教育総務課） 決算額：50,788,426 円
- ア 校務支援システム使用及び保守委託 決算額：29,985,780 円
- 奈良県域で共同利用の統合型校務支援システム「School Engine」やそれに付随するクラウドシステムの使用及び保守委託を行い、教職員の校務における効率化を図った。
- イ ICT支援業務委託 決算額：14,850,000 円
- ICT支援員が市立小中学校を巡回し、児童生徒に対してタブレット等の操作方法や、教職員に対してタブレットやプロジェクター等のICT機器を授業で効果的に活用できるように支援を行った。ICT支援員による学校訪問件数は、小学校が437件、中学校が163件であった。
- ウ 奈良県域GIGAスクール運営支援センター負担金 決算額：5,075,560 円
- 奈良県と市町村が、共同で民間事業者を活用して広域的に支援する奈良県域GIGAスクール運営支援センターを整備及び運営する負担金を支出し、学校の円滑なICT運用を支える体制を構築した。
- ※ 令和6年度市町村サポート一覧から活用した事業 P42 GIGAスクール運営支援センター整備事業
- (3) 学校保健・安全推進事務（保健給食課） 決算額：9,900 円
- (4) 人事職員関係事務（学校教育課） 決算額：4,885,477 円
- 適応指導教室（すみれ教室）に教育指導員を配置し、通室児童生徒の対応を行った。市立中学校で別室登校となっている生徒に対しては、教育指導員が各校へ訪問しケアを実施した。また、市立小中学校を巡回する特別支援アドバイザーを配置し、教職員等に対し発達障害を含む障害のある児童生徒への支援の助言等を実施した。

3目 人権教育推進費

（単位：円）

事務事業名	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
学校人権教育推進事務	701,040	0	0	0	701,040
合 計	701,040	0	0	0	701,040

学校人権教育推進事務（学校支援室） 決算額：701,040 円

市立小中学校の教職員を対象に、学校単位で人権教育に関する研修等を実施した。また、奈良県人権教育研究会等の外部研修会に参加し、人権教育に関する資質の向上に努めた。

4 目 教育振興費

(単位：円)

事務事業名	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
(1) 学校・地域パートナーシップ事業	3,642,556	2,370,000	0	0	1,272,556
(2) 学力向上推進事業	908,752	0	0	0	908,752
(3) 教育相談支援事業	7,602,138	1,936,000	0	636,665	5,029,473
(4) 就学管理事務	863,764	0	0	0	863,764
(5) 人事職員関係事務	19,914,673	0	0	4,251,010	15,663,663
(6) 学校・地域パートナーシップ事業 (学校配当分)	432,824	220,000	0	0	212,824
合 計	33,364,707	4,526,000	0	4,887,675	23,951,032

(1) 学校・地域パートナーシップ事業（生涯学習課）

決算額：3,642,556 円

ア 放課後子ども教室

決算額：1,647,656 円

市立小学校 8 校において、放課後に地域の支援により子どもたちの体験学習や交流事業等、様々な教育支援活動を実施した。

イ 地域未来塾

決算額：208,800 円

市立中学校 4 校において、放課後や長期休業中等に、地域の支援により子どもたちに教育支援活動を実施した。

ウ 地域学校協働活動

決算額：1,786,100 円

※ 令和 6 年度市町村サポート一覧から活用した事業 P41 学校・地域パートナーシップ事業

(2) 学力向上推進事業（学校支援室）

決算額：908,752 円

学校教育の充実及び発展に資するため、指定研究校及び教科等研究会の活動に対し助成を実施した。

香芝市立小中学校において、熱中症特別警戒アラートの発表日を臨時休業とする取扱いを定めた。

一般社団法人奈良県交通安全協会から、毎年 4 月に本市に贈呈され、本市から小学校 1 年生に配布しているランドセルカバーについて、各小学校において装着の対象を 1 年生に限ることとしている事例が多く見受けられるところ、更なる交通安全の確保のために、1 年生及び 2 年生に対しては当該ランドセルカバーを装着するように指導し、3 年生以上の中学年の児童につ

いてもランドセルカバーを装着することが望ましい旨を児童らに伝えるとともに、保護者に対してもその旨を通知するよう市立小学校長に通知した。

(3) 教育相談支援事業（学校支援室） 決算額：7,602,138 円

スクールカウンセラー、不登校等相談員及び心のケア支援スタッフを配置し、教育相談を実施した。また、香芝市いじめ・不登校等対応委員会を開催した。

※ 令和6年度市町村サポート一覧から活用した事業 P1 自殺対策強化事業（自殺対策強化補助金）

(4) 就学管理事務（学校教育課） 決算額：863,764 円

(5) 人事職員関係事務（学校教育課） 決算額：19,914,673 円

特別支援教育支援員を市立小中学校に配置し、支援が必要な児童生徒のサポートを実施した。

(6) 学校・地域パートナーシップ事業（学校配当分） 決算額：432,824 円

市立小中学校において、校区コミュニティ協議会の運営や各種ボランティア活動を実施した。

2 項 小学校費

1 目 学校管理費

（単位：円）

事務事業名	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
(1) 小学校管理運営経費	44,978,951	0	0	559,808	44,419,143
(2) 小学校運営事務	175,722,410	4,001,500	0	2,168,200	169,552,710
(3) 学校保健・安全推進事務	15,144,021	0	0	2,174,050	12,969,971
(4) 小学校施設維持管理事業	823,759,403	152,227,000	537,700,000	0	133,832,403
(5) 学力向上推進事業	13,444,767	3,024,000	0	200,000	10,220,767
(6) 学校運営協議会推進事務	394,536	0	0	0	394,536
(7) 人事職員関係事務	10,537,978	6,866,000	0	189,134	3,482,844
(8) 小学校運営事務（学校配当分）	97,473,947	0	0	38,421,896	59,052,051

(9) 小学校施設維持 管理事業（学校配 当分）	497,328	0	0	0	497,328
(10) 学校保健・安全 推進事務（学校配 当分）	100,465	0	0	0	100,465
合 計	1,182,053,806	166,118,500	537,700,000	43,713,088	434,522,218

(1) 小学校管理運営経費（人事課） 決算額：44,978,951 円

(2) 小学校運営事務（教育総務課） 決算額：175,722,410 円

学校消毒業務委託事務 決算額：4,668,518 円

学校内で児童が使用するドアノブや階段の手すり等の消毒作業等を実施した。

※ 令和6年度市町村サポート一覧から活用した事業 P41 教員業務支援員配置促進事業

(3) 学校保健・安全推進事務（保健給食課） 決算額：15,144,021 円

小中学校生理用品設置事業 決算額：10,087 円

(4) 小学校施設維持管理事業（教育総務課） 決算額：823,759,403 円

ア 二上小学校長寿命化改修工事 決算額：406,218,520 円

令和5年度から着手している工事について、予定する屋内運動場の令和7年9月末竣工、
校舎の令和8年3月末竣工を目指し、令和6年度についても工事を実施した。

イ 下田小学校トイレ改修工事 決算額（繰越明許費）：91,190,000 円

ウ 志都美小学校トイレ改修工事 決算額（繰越明許費）：71,082,000 円

エ 五位堂小学校トイレ改修工事 決算額（繰越明許費）：55,121,000 円

オ 三和小学校トイレ改修工事 決算額（繰越明許費）：52,437,000 円

カ 香芝市立小学校トイレ改修工事に伴う設計業務委託 決算額：6,160,000 円

キ 二上小学校長寿命化改修工事に伴う監理業務委託 決算額：10,131,000 円

ク 下田小学校長寿命化改修工事に伴う設計業務委託
決算額（繰越明許費）：18,495,400 円

※ 令和6年度市町村サポート一覧から活用した事業 P42 学校施設環境改善交付金

(5) 学力向上推進事業（学校支援室） 決算額：13,444,767 円

ア 学校図書館の蔵書の充実 決算額：2,024,126 円

イ 学校図書館システムの更新 決算額：5,820,610 円

ウ 英語指導助手派遣業務 決算額：4,203,320 円

エ 森林環境教育体験学習補助金 決算額：625,000 円

※ 令和6年度市町村サポート一覧から活用した事業 P41 学力向上を目的とした学校教育
活動支援事業

(6) 学校運営協議会推進事務（学校支援室） 決算額：394,536 円

学校ごとに設置された学校運営協議会を延べ47回開催した。

- (7) 人事職員関係事務（学校教育課） 決算額：10,537,978 円
教職員の業務負担の軽減を図るため、スクール・サポート・スタッフ、看護師及び養護教諭を市立小学校に配置した。
- ※ 令和6年度市町村サポート一覧から活用した事業 P41 教員業務支援員配置促進事業
- (8) 小学校運営事務（学校配当分） 決算額：97,473,947 円
- (9) 小学校施設維持管理事業（学校配当分） 決算額：497,328 円
- (10) 学校保健・安全推進事務（学校配当分） 決算額：100,465 円

2 目 教育振興費

(単位：円)

事務事業名	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
(1) 小学校運営事務	2,096,574	0	0	0	2,096,574
(2) 就学支援事務	61,490,880	36,863,267	0	0	24,627,613
合 計	63,587,454	36,863,267	0	0	26,724,187

(1) 小学校運営事務（教育総務課） 決算額：2,096,574 円

(2) 就学支援事務（学校教育課） 決算額：61,490,880 円

ア 特別支援教育就学奨励費 決算額：2,358,910 円

特別支援教育に係る経済的負担の軽減を図ることを目的として、市立小学校の特別支援学級等に就学する児童の保護者 65 人に対して就学奨励費を 2,358,910 円給付した。内訳は、学用品費等で 839,802 円、学校給食費で 1,519,108 円であった。

イ 要・準要保護就学援助費 決算額：46,538,428 円

市立小学校における義務教育の円滑な実施に資するため、家庭環境等の理由により、就学支援が必要であると認められる児童（要保護及び準要保護児童）の保護者 618 人及び市立小学校へ入学前の幼児の保護者 63 人に対して就学援助費を 46,538,428 円給付した。内訳は、学用品費等で 13,805,064 円、医療費で 187,049 円、学校給食費で 28,951,535 円、新入学用品費で 3,594,780 円であった。

ウ 香芝市立小中学校新入生標準服無償化事業【市長公約】 決算額：12,577,542 円

市立小学校へ入学する新 1 年生の保護者に対して、標準服の購入に要する費用を給付した。市立小学校新入学生 659 人に対して、申請は 658 人であった。

エ 晴実台の通学路視察

関屋小学校までの距離が長く、起伏が大きい地域から通学している小学生の状況について、改善策を模索し、今後の政策の基礎とするため、市長、教育長及びその他の職員が、関屋小学校から穴虫（さくら坂）までの通学路を実際に歩いて視察を実施した。

※ 令和 6 年度市町村サポート一覧から活用した事業 P43 要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金

3 項 中学校費

1 目 学校管理費

(単位：円)

事務事業名	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
(1) 中学校管理運営経費	16,326,819	0	0	0	16,326,819
(2) 中学校運営事務	89,136,321	455,500	0	2,285,610	86,395,211
(3) 学校保健・安全推進事務	8,649,940	80,000	0	1,110,000	7,459,940
(4) 中学校施設維持管理事業	60,343,716	0	49,500,000	0	10,843,716
(5) 学力向上推進事業	6,026,944	0	0	0	6,026,944
(6) 学校運営協議会推進事務	297,003	0	0	0	297,003
(7) 人事職員関係事務	15,195,073	4,255,759	0	369,782	10,569,532
(8) 中学校運営事務(学校配当分)	80,474,693	0	0	58,515,103	21,959,590
(9) 中学校施設維持管理事業(学校配当分)	410,504	0	0	0	410,504
(10) 学校保健・安全推進事務(学校配当分)	66,146	0	0	0	66,146
合 計	276,927,159	4,791,259	49,500,000	62,280,495	160,355,405

(1) 中学校管理運営経費(人事課) 決算額：16,326,819 円

(2) 中学校運営事務(教育総務課) 決算額：89,136,321 円

※ 令和6年度市町村サポート一覧から活用した事業 P43 理科教育設備整備費等補助金

(3) 学校保健・安全推進事務(保健給食課) 決算額：8,649,940 円

小中学校生理用品設置事業 決算額：113,617 円

(4) 中学校施設維持管理事業(教育総務課) 決算額：60,343,716 円

ア 香芝市立中学校トイレ改修工事に伴う設計業務委託 決算額：3,245,000 円

イ 香芝市立中学校屋内運動場空調設備設置工事に伴う設計業務委託 決算額：7,214,900 円

※ 令和6年度市町村サポート一覧から活用した事業 P42 学校施設環境改善交付金

- (5) 学力向上推進事業（学校支援室） 決算額：6,026,944 円
 ア 学校図書館の蔵書の充実 決算額：2,906,341 円
 イ 学校図書館システムの更新 決算額：2,461,840 円
 ウ フレンドシップコンサート開催事業 決算額：234,830 円
 (6) 学校運営協議会推進事務（学校支援室） 決算額：297,003 円
 学校ごとに設置された学校運営協議会を延べ 23 回開催した。
 (7) 人事職員関係事務（学校教育課） 決算額：15,195,073 円
 教職員の業務負担の軽減を図るため、スクール・サポート・スタッフ、非常勤講師及び部活動指導員を市立中学校に配置した。また、学校部活動の地域クラブへの移行に向けて、休日の運動クラブ活動及び文化クラブ活動の運営業務を委託する実証事業を実施した。
 ※ 令和 6 年度市町村サポート一覧から活用した事業 P 41 教員業務支援員配置促進事業
 地域クラブ活動体制整備事業 部活動指導員配置促進事業
 (8) 中学校運営事務（学校配当分） 決算額：80,474,693 円
 (9) 中学校施設維持管理事業（学校配当分） 決算額：410,504 円
 (10) 学校保健・安全推進事務（学校配当分） 決算額：66,146 円

2 目 教育振興費

（単位：円）

事務事業名	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
(1) 中学校運営事務	3,947,797	0	0	0	3,947,797
(2) 就学支援事務	66,463,823	759,000	0	0	65,704,823
合 計	70,411,620	759,000	0	0	69,652,620

- (1) 中学校運営事務（教育総務課） 決算額：3,947,797 円
 (2) 就学支援事務（学校教育課） 決算額：66,463,823 円
 ア 特別支援教育就学奨励費 決算額：1,335,645 円
 特別支援教育に係る経済的負担の軽減を図ることを目的として、市立中学校の特別支援学級等に就学する生徒の保護者 27 人に対して就学奨励費を 1,335,645 円給付した。内訳は、学用品費等で 775,395 円、学校給食費で 560,250 円であった。
 イ 要・準要保護就学援助費 決算額：36,550,118 円
 市立中学校における義務教育の円滑な実施に資するため、家庭環境等の理由により、就学支援が必要であると認められる生徒（要保護及び準要保護生徒）の保護者 342 人及び市立中学校へ入学前の児童の保護者 99 人に対して就学援助費を 36,550,118 円給付した。内訳は、学用品費等で 15,640,860 円、医療費で 50,466 円、学校給食費で 14,621,792 円、新入学用品費で 6,237,000 円であった。
 ウ 香芝市立小中学校新入生標準服無償化事業【市長公約】 決算額：28,560,653 円
 市立中学校へ入学する新 1 年生の保護者に対して、標準服の購入に要する費用を給付し

た。市立中学校新入学生 727 人に対して、申請は 724 人であった。

※ 令和 6 年度市町村サポート一覧から活用した事業 P43 要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金

4 項 幼稚園費

1 目 幼稚園管理費 (単位：円)

事務事業名	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
(1) 幼稚園管理運営経費	492,144,220	5,120,000	0	0	487,024,220
(2) 幼稚園・保育所・認定こども園施設整備事業	12,237,763	686,000	4,100,000	4,986,900	2,464,863
(3) 学校保健・安全推進事務	2,906,163	0	0	101,000	2,805,163
(4) 保育所・幼稚園・認定こども園運営事業	29,843,794	1,229,560	0	1,292,804	27,321,430
(5) 人事・職員関係事務	77,825,884	0	0	0	77,825,884
(6) 認定こども園運営事業（認定こども園配当分）	10,991,280	0	0	2,010,590	8,980,690
(7) 人事・職員関係事務（認定こども園配当分）	19,800	0	0	0	19,800
(8) 幼稚園運営事業（幼稚園配当分）	3,819,119	0	0	352,552	3,466,567
(9) 人事・職員関係事務（幼稚園配当分）	15,000	0	0	0	15,000
合 計	629,803,023	7,035,560	4,100,000	8,743,846	609,923,617

(1) 幼稚園管理運営経費（人事課） 決算額：492,144,220 円

※ 令和 6 年度市町村サポート一覧から活用した事業 P17 要支援児保育促進事業費補助（障害児保育質向上事業費補助）

(2) 幼稚園・保育所・認定こども園施設整備事業（保育幼稚園課） 決算額：12,237,763 円

ア 認定こども園及び幼稚園トイレ改修工事に伴う設計業務 決算額：2,145,000 円

イ 認定こども園下田幼稚園防犯設備改修工事【市長公約】 決算額：4,136,000 円

フェンス、電気錠及び防犯カメラの設置等により、防犯設備の整備を実施した。

(3) 学校保健・安全推進事務（保健給食課） 決算額：2,906,163 円

園児の検診の状況 決算額：1,104,000 円

学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）及び学校保健安全法（昭和 33 年法律第 56 号）の規定に基づき、園児の健康診断を実施した。内科検診については 11 日間実施し、延べ 805 人、歯科検診については 8 日間実施し、延べ 500 人を診断した。

(4) 保育所・幼稚園・認定こども園運営事業（保育幼稚園課） 決算額：29,843,794 円

ア 通常保育の実施

イ 市立認定こども園及び幼稚園における預かり保育事業

市立認定こども園及び幼稚園で預かり保育を実施し、全施設で延べ 11,013 人が利用した。

ウ 幼保 D X 業務推進事業 決算額：770,000 円

保護者の市立認定こども園及び幼稚園への連絡時の利便性を高めるとともに、職員の業務効率化を図るため、保育・教育施設支援システム（C o D M O N）を導入した。

※ 令和 6 年度市町村サポート一覧から活用した事業 P16 及び P20 地域子ども・子育て支援事業（一時預かり事業）

(5) 人事・職員関係事務（保育幼稚園課） 決算額：77,825,884 円

※ 令和 6 年度市町村サポート一覧から活用した事業 P17 要支援児保育促進事業費補助（障害児保育質向上事業費補助）

(6) 認定こども園運営事業（認定こども園配当分） 決算額：10,991,280 円

(7) 人事・職員関係事務（認定こども園配当分） 決算額：19,800 円

(8) 幼稚園運営事業（幼稚園配当分） 決算額：3,819,119 円

(9) 人事・職員関係事務（幼稚園配当分） 決算額：15,000 円

2 目 教育振興費

(単位：円)

事務事業名	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
(1) 保育所・幼稚園 ・認定こども園運 営事業	420,768	0	0	0	420,768
(2) 私立幼稚園等補 助事務	505,179,966	341,733,255	0	192,500	163,254,211
(3) 認定こども園運 営事業（認定こど も園配当分）	30,000	0	0	0	30,000
(4) 幼稚園運営事業 （幼稚園配当分）	22,071	0	0	0	22,071
合 計	505,652,805	341,733,255	0	192,500	163,727,050

(1) 保育所・幼稚園・認定こども園運営事業（保育幼稚園課） 決算額：420,768 円

香芝市立認定こども園及び幼稚園において、1 号認定の児童は、熱中症特別警戒アラートの
発表日を臨時休業とする取扱いを定めた。

(2) 私立幼稚園等補助事務（保育幼稚園課） 決算額：505,179,966 円

民間認定こども園及び幼稚園における一時預かり事業 決算額：52,717,000 円

在園児童に対して一時預かりサービスを行った民間認定こども園及び幼稚園に、1 人当たり
平日 1 日 400 円を基本として、補助を実施し、全施設で延べ 62,974 人が利用した。

※ 令和 6 年度市町村サポート一覧から活用した事業 P16 及び P20 地域子ども・子育て支
援事業（一時預かり事業） P16 及び P20 地域子ども・子育て支援事業（実費徴収補足給付
事業） P18 及び P21 認定こども園等施設型給付費負担金・補助金 P18 及び P21 私立幼
稚園施設型給付費交付金・補助金 P18 及び P21 幼児教育無償化事業

(3) 認定こども園運営事業（認定こども園配当分） 決算額：30,000 円

(4) 幼稚園運営事業（幼稚園配当分） 決算額：22,071 円

5 項 社会教育費

1 目 社会教育総務費

(単位：円)

事務事業名	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
(1) 社会教育総務経費	61,266,938	0	0	0	61,266,938
(2) 生涯学習機会提供事業	1,614,778	0	0	0	1,614,778
(3) 青少年体験交流推進事業	5,564,301	0	0	1,862,681	3,701,620
(4) 青少年健全育成事業	1,027,104	0	0	0	1,027,104
合 計	69,473,121	0	0	1,862,681	67,610,440

(1) 社会教育総務経費（人事課） 決算額：61,266,938 円

(2) 生涯学習機会提供事業（生涯学習課） 決算額：1,614,778 円

ア 社会教育委員会議 決算額：342,000 円

社会教育の振興を図るため、社会教育委員会議を 3 回開催した。また、社会教育委員の資質の向上を図るべく、各種研修会に 3 回参加した。

イ 社会教育関係団体補助金 決算額：572,000 円

社会教育の振興を図るため、市内の社会教育関係 9 団体の活動事業に要する経費に対して、補助金を交付した。

ウ 夏のかしばアカデミー 決算額：364,109 円

香芝市民が 1 日限定の講師になって市民に対して授業を行う学び合いの講座を実施した。講座数は 40 講座で、参加者数は 562 人であった。

(3) 青少年体験交流推進事業（生涯学習課） 決算額：5,564,301 円

ア 子どもフェスティバル 決算額：140,671 円

家族や友達と一緒に、ものづくり体験等の機会を提供するため、ふれあいフェスタと同日に、子どもフェスティバルを開催した。参加者数は、3,685 人であった。

イ 二十歳を祝う会 決算額：5,352,725 円

20 歳を迎えた方を対象に、社会参加の自覚と責任を改めて認識してもらうとともに、旧友との再会の場の創出を目的に開催した。参加者数は、761 人であった。

(4) 青少年健全育成事業（生涯学習課） 決算額：1,027,104 円

ア 少年の主張 決算額：130,241 円

小学校 5 年生から中学校 3 年生までを対象に、学校や身の回りで感じたこと、未来へのメッセージ、社会の出来事に対する意見等についての作文を募集した。それらの中から、審査会で選ばれた優秀作品については、子どもたち自身が市民集会で発表を行った。作文応募数

は 3,285 点であった。

イ 青少年健全育成協議会

決算額：550,000 円

地域住民（保護者、民生委員、学校関係者等）が参加し、市内の小中学生を対象に、青少年の健全な成長及び非行防止の推進を図るため、地域の見守り活動、バスツアー、工作体験等の体験活動を実施した。

4 目 公民館費

（単位：円）

事務事業名	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
生涯学習機会提供事業	47,477,893	0	0	3,502,420	43,975,473
合 計	47,477,893	0	0	3,502,420	43,975,473

生涯学習機会提供事業（生涯学習課）

決算額：47,477,893 円

公民館の運営と施設の維持及び管理を指定管理者により行い、各種講座や登録団体のサークル活動等、市民の生涯学習活動の機会を提供した。中央公民館の利用状況は、以下のとおりである。

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用件数（件）	3,109	2,582	3,227	4,453	4,642
利用件数(有料)（件）	2,599	2,030	2,741	3,782	3,860
使用料収入額（円）	2,512,280	1,927,750	2,625,150	3,612,280	4,391,775

5 目 文化財保護費

（単位：円）

事務事業名	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
(1) 文化財保護啓発事業	3,130,808	260,000	0	0	2,870,808
(2) 文化財発掘調査事務	5,384,436	2,325,000	0	0	3,059,436
合 計	8,515,244	2,585,000	0	0	5,930,244

(1) 文化財保護啓発事業（文化財課）

決算額：3,130,808 円

郷土の貴重な歴史及び文化財を保存し、次世代に継承するために必要な措置を講じるとともに、観光資源として魅力を発信するための普及啓発事業を行った。尼寺廃寺跡及び平野塚穴山古墳史跡公園の維持管理を始め、香芝市文化財保護審議会の開催や発掘調査中の古墳見学会を小学校単位で開催し、身近な郷土の文化財に親しむきっかけづくり等を行った。令和 6 年度の尼寺廃寺跡学習館の利用者数は、1,673 人で前年度より 22 人の増加となった。

※ 令和 6 年度市町村サポート一覧から活用した事業 P79 市町村事務処理交付金

(2) 文化財発掘調査事務（文化財課） 決算額：5,384,436 円

香芝市史跡整備検討委員会の指導及び助言に基づき、狐井稲荷古墳及び土山古墳の国史跡指定に向けた発掘調査を実施した。狐井稲荷古墳は、12 基以上の円筒埴輪が並んだ状態で検出されたことなどの成果があった。土山古墳では、粘土で覆われた未盗掘の埋葬施設が確認され、県西部では最古級の前方後円墳であることが明らかになった。

6 目 埋蔵文化財発掘調査受託事業費 (単位：円)

事務事業名	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
(1) 文化財発掘調査事務	4,524,092	0	0	4,524,092	0
(2) 文化財発掘調査事務（人事課）	419,676	0	0	419,676	0
合 計	4,943,768	0	0	4,943,768	0

(1) 文化財発掘調査事務（文化財課） 決算額：4,524,092 円

一般国道 165 号香芝柏原改良に伴う発掘調査を実施した。旧石器時代から弥生時代にかけて製作されたサヌカイト製石器が多量に出土し、二上山博物館で展示した。来館者数は 659 人であった。

(2) 文化財発掘調査事務（人事課） 決算額：419,676 円

8 目 図書館費 (単位：円)

事務事業名	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
(1) 図書館管理運営経費	50,010,148	0	0	0	50,010,148
(2) 資料情報提供事業	37,319,343	0	0	17,830	37,301,513
(3) 読書普及活動事業	135,777	0	0	0	135,777
(4) 図書館管理運営事務	23,151,115	0	0	0	23,151,115
合 計	110,616,383	0	0	17,830	110,598,553

(1) 図書館管理運営経費（人事課） 決算額：50,010,148 円

(2) 資料情報提供事業（市民図書館） 決算額：37,319,343 円

本事業は、図書等を収集、整理し、市民に閲覧及び貸出しの方法で提供する取組である。令

和 6 年度は、前年度に引き続き、新刊図書の受入れ、不用図書の除籍、個人及び団体への貸出し等を行い、蔵書回転率は前年度と同じ 1.5 回となった。

ア 蔵書整備事業 決算額：9,996,707 円

新刊図書の受入れ、汚損及び破損図書並びに内容が古くなった図書の除籍を行った。令和 6 年度の受入冊数は 4,900 冊、除籍冊数は 4,116 冊であり、蔵書がどれだけ新しくなったかを示す蔵書新鮮度は、2.2%となった。なお、前年度は、受入冊数が 8,464 冊、除籍冊数が 6,950 冊、蔵書新鮮度が 3.7%であった。

イ 電子図書館事業 決算額：998,731 円

新規の電子書籍として、オーディオブック、読み放題の児童向け電子書籍を中心に 467 点を導入した。令和 6 年度の閲覧回数は 24,536 回、貸出回数は 10,801 回であり、前年度は閲覧回数が 36,249 回、貸出回数が 18,794 回であった。

(3) 読書普及活動事業（市民図書館） 決算額：135,777 円

本事業は、読書の啓発及び図書館利用の促進を図る取組である。令和 6 年度は、おはなし会、季節ごとのイベントのほか、子どもの読書活動に関する講座を開催した。令和 6 年度の来館者数は 186,042 人で、前年度は 186,044 人であった。

(4) 図書館管理運営事務（市民図書館） 決算額：23,151,115 円

図書館システム更新事業 決算額：21,568,580 円

図書館システムの利用期間の満了に伴い、図書館システムの更新及び端末等の入替え、Web サービスの強化を行った。令和 6 年度の市民図書館蔵書検索ページへのアクセス件数は 898,212 件であり、前年度のアクセス件数は 895,308 件であった。

9 目 博物館費

(単位：円)

事務事業名	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
(1) 博物館管理運営経費	50,040,394	0	0	226,000	49,814,394
(2) 博物館活性化事業	7,690,951	100,000	0	60,800	7,530,151
合 計	57,731,345	100,000	0	286,800	57,344,545

(1) 博物館管理運営経費（人事課） 決算額：50,040,394 円

(2) 博物館活性化事業（文化財課） 決算額：7,690,951 円

地域の歴史及び文化財を学習する拠点として、また、情報発信の拠点として、二上山博物館の機能の充実を図った。

ア 資料の保存と調査・研究推進事業 決算額：7,029,860 円

郷土資料の調査及び研究を推進し、展示内容の充実を図った。令和 6 年度の観覧者数は、8,774 人で、前年度比 497 人増となった。

イ 学習環境充実事業

決算額：403,691 円

地域に密着した各種展覧会や講演会、講座等を開催し、地域の魅力ある歴史資源を活用した質の高い学習環境の充実を図った。また、博学連携教育（郷土学習授業）により、児童生徒等に文化財を活用した多様な学習機会を提供し、郷土の歴史に対する理解と愛着の醸成を図った。令和6年度の博学連携教育参加者は1,921人で、前年度比562人増となった。

ウ 博物館DX化推進事業

決算額 257,400 円

博物館DX化の継続事業として、市内に所在する文化財で消滅又は散逸する可能性がある資料3点を3次元による計測を行い、デジタルアーカイブ化を実施した。

11目 市史編さん費

(単位：円)

事務事業名	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
市史編さん事業	2,865,777	0	0	1,907,928	957,849
合 計	2,865,777	0	0	1,907,928	957,849

市史編さん事業（文化財課）

決算額：2,865,777 円

(1) 市史編さん事業

決算額：660,849 円

香芝市史編さん委員会を2回開催し、香芝市史編さん基本方針に基づき、編さん計画や刊行スケジュール等を検討し、編集方針や調査研究の方向性等を審議する香芝市史編集委員会と資料の収集、整理、調査、研究、執筆及び編集を行う専門部会の設置について審議した。

(2) 郷土資料の調査・研究

決算額：2,204,928 円

五位堂鋳物師資料保存整理事業として、杉田鋳造所旧蔵資料の分類及び整理、鉄製品のクリーニングと錆止め処理及び津田家文書の分類及び整理を実施した。また、二上山北麓遺跡群の総合的調査研究として他機関との共同研究や個人で文化財を所有されている方の求めに応じて、学芸員が資料調査を実施した。

12目 文化振興費

(単位：円)

事務事業名	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
文化施設管理・運営事業	139,636,675	0	39,000,000	116,075	100,520,600
合 計	139,636,675	0	39,000,000	116,075	100,520,600

文化施設管理・運営事業（生涯学習課）

決算額：139,636,675 円

(1) 文化施設指定管理事業

決算額：84,175,000 円

香芝市ふたかみ文化センターの運営と施設の維持及び管理を指定管理者により行い、市民の生涯学習活動の機会を提供した。利用状況は、以下のとおりである。

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用件数（件）	2,417	4,161	3,827	3,759	3,800
利用者数（人）	29,932	54,882	64,291	72,988	72,238
使用料収入額（円）	3,691,400	5,472,200	5,180,840	6,497,090	8,233,540

(2) 文化施設改修事業 決算額：48,037,220 円

香芝市ふたかみ文化センターにおいて、市民ホールの照明設備のLED化、プロジェクター設置及び1階トイレ改修等を行った。

(3) かしばアートweek事業 決算額：791,473 円

市民の芸術に対する関心と制作意欲を高め、学びの成果の発表の場として市美術展覧会を開催するとともに、香芝市ふたかみ文化センター、香芝市中央公民館、香芝市民図書館、香芝市二上山博物館等と連携し、文化芸術に関する各種事業を行った。市美術展の出品数は144点、来場者数は569人であった。

6 項 保健体育費 1 目 保健体育総務費 (単位：円)

事務事業名	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
(1) 保健体育総務経費	3,156,350	0	0	0	3,156,350
(2) スポーツ活動支援事業	5,225,401	0	0	1,298,295	3,927,106
合 計	8,381,751	0	0	1,298,295	7,083,456

(1) 保健体育総務経費（人事課） 決算額：3,156,350 円

(2) スポーツ活動支援事業（生涯学習課） 決算額：5,225,401 円

ア スポーツ少年団事業 決算額：1,200,000 円

スポーツ少年団の活動に対し補助金を交付するとともに、本部運営の支援や各種研修を行った。スポーツ少年団員は453人、指導者は109人であった。

イ スポーツイベント事業 決算額：1,142,006 円

スポーツイベントを通し、体を動かすきっかけ作りや技能の向上を図った。ニュースポーツデーの参加者数は128人、サッカー教室の参加者数は57人、アスレチックチャレンジの参加者数は252人であった。

ウ 第85回国民スポーツ大会・第30回全国障害者スポーツ大会開催事業

令和13年度に奈良県での開催が予定されている第85回国民スポーツ大会・第30回全国障害者スポーツ大会に関して、バレーボール、スポーツクライミング及び空手道の競技会場地として選定された。また、令和6年7月に競技会場地の市町村における人的及び財政的負担の軽減を求めて、奈良県知事に要望した。

※ 令和6年度市町村サポート一覧から活用した事業 P2 スポーツ振興くじ助成金

2目 体育施設費

(単位：円)

事務事業名	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
スポーツ活動支援事業	222,610,549	0	122,000,000	35,147,649	65,462,900
合 計	222,610,549	0	122,000,000	35,147,649	65,462,900

スポーツ活動支援事業（生涯学習課）

決算額：222,610,549 円

(1) 体育施設指定管理事業

決算額：40,975,000 円

香芝市総合体育館や奈良県香芝健民運動場を始め、市内に所在する社会体育施設の管理及び運営を指定管理者により行った。利用状況は、以下のとおりである。

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用件数（件）	11,247	28,305	35,484	45,767	45,464
利用者数（人）	94,322	194,625	205,643	229,940	213,523
使用料収入額（円）	11,240,245	19,258,810	17,754,875	22,470,215	26,889,850

(2) 北部地域体育館長寿命化工事

決算額：152,808,700 円

※ 令和6年度市町村サポート一覧から活用した事業 P2 スポーツ振興くじ助成金

3目 学校給食運営費

(単位：円)

事務事業名	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
(1) 学校給食運営事務	822,591,298	0	0	388,485,505	434,105,793
(2) 学校給食施設管理事務	5,781,160	0	0	0	5,781,160
(3) 学校給食事務（幼稚園）	258,880	0	0	0	258,880
(4) 学校給食事務（小学校）	686,094	0	0	0	686,094
(5) 学校給食事務（中学校）	397,483	0	0	0	397,483
合 計	829,714,915	0	0	388,485,505	441,229,410

(1) 学校給食運営事務（保健給食課）

決算額：822,591,298 円

ア 給食実施状況

各施設における給食の実施回数は、以下のとおりである。

区 分	幼稚園	認定こども園	小学校	中学校
回 数 (回)	139	175	183	160

イ 中学校給食費無償化事業 決算額：5,643,720 円

進学等を控えた保護者の経済的負担の軽減を図るため、市立中学校第3学年の生徒を対象に、第3学期の給食費を無償化した。

ウ 給食費物価高騰分補助事業 決算額：20,924,600 円

子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、市立幼稚園の園児及び小学校の児童を対象に給食費の給付を行った。

(2) 学校給食施設管理事務（教育総務課） 決算額：5,781,160 円

(3) 学校給食事務（幼稚園） 決算額：258,880 円

(4) 学校給食事務（小学校） 決算額：686,094 円

(5) 学校給食事務（中学校） 決算額：397,483 円

※ 令和6年度市町村サポート一覧から活用した事業

<p>P18 GIGAスクール運営支援センター整備事業</p> <p>実施主体 : 奈良県</p> <p>県予算額 : 124,371 千円[5年度2月補正]</p> <p>目的・内容 : 市町村立学校のICT活用に係る相談窓口として、GIGAスクール運営支援センターを設置・運営</p>
<p>P19 学校・地域パートナーシップ事業</p> <p>実施主体 : 奈良県</p> <p>県予算額 : 49,033 千円</p> <p>目的・内容 : 地域で子どもを育てるため、学校が地域住民等と協働し、子どもの課題解決に向けた取組を推進する市町村事業に対する助成</p> <p>スキーム : 国 1/3 県 1/3 市町村 1/3</p> <p>助成対象 : 大和高田市外 31 市町村、式下中組合</p>
<p>P20 自殺対策強化事業（自殺対策強化補助金）</p> <p>実施主体 : 奈良県</p> <p>県予算額 : 45,000 千円</p> <p>目的・内容 : 自殺対策に自主的に取り組む市町村等の活動を支援</p> <p>スキーム : 国 10/10</p> <p>助成対象 : 市町村</p>
<p>P21、22、25 教員業務支援員配置促進事業</p> <p>実施主体 : 奈良県</p> <p>県予算額 : 178,330 千円</p> <p>目的・内容 : 教員の負担軽減を図るため、公立小中学校及び義務教育学校に教員業務支援員を配置する市町村に対する助成</p> <p>スキーム : 国 1/3 県 2/3</p> <p>助成対象 : 市町村、式下中組合</p>

P 21、24 学校施設環境改善交付金	
実施主体	：文部科学省
目的・内容	：公立の義務教育学校等施設に係る改築や補強、長寿命化改良等の施設整備事業に対する国庫交付金
スキーム	：危険改築 原則 1/3、過疎 5.5/10 不適格改築 原則 1/3、過疎 5.5/10、 地震特措法 1/2（特）地震改築 （Is 値 0.3 未満かつ、やむを得ない場合） 地震補強 原則 1/3 地震特措法 1/2（Is 値 0.3 以上） 地震特措法 2/3（Is 値 0.3 未満） 長寿命化改良事業 1/3

P 21 学力向上を目的とした学校教育活動支援事業	
実施主体	：奈良県
県予算額	：101,802 千円
目的・内容	：児童生徒へのきめ細かな対応や教員の働き方改革を実現するため、公立小中学校等へ学校教育活動を支援する多様な地域人材を学習支援員等として配置する市町村に対する助成
スキーム	：国 1/3 県 2/3、国 2/9 県 4/9 市町村 3/9
助成対象	：市町村・一部事務組合

P 23、26 要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金	
実施主体	：文部科学省
目的・内容	：要保護児童生徒援助費補助金 経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者を支援する市町村に対する助成
スキーム	：修学旅行費、学用品費、給食費、医療費等に対し 国 1/2 市町村 1/2
目的・内容	：特別支援教育就学奨励費補助金 特別支援学級に就学する児童生徒の保護者を支援する市町村に対する助成
スキーム	：給食費、修学旅行費、学用品購入費等に対し 国 1/2 市町村 1/2

P 24	理科教育設備整備費等補助金
実施主体	：文部科学省
目的・内容	：理科、算数及び数学に関する教育を実施するために設備の整備等の事業を行った市町村に対する助成
スキーム	：国 1/2 市町村 1/2

P 25	地域クラブ活動体制整備事業
実施主体	：奈良県
県予算額	：35,980 千円
目的・内容	：休日の部活動の段階的な地域移行と地域スポーツ・文化芸術環境の一体的な整備に向け、関係スポーツ団体等の整備拡充、指導者の確保、参加費用負担軽減の実証事業を実施する市町村に対する助成
スキーム	：国 10/10
助成対象	：市町村

P 25	部活動指導員配置促進事業
実施主体	：奈良県
県予算額	：59,248 千円
目的・内容	：部活動の質向上及び教員の負担軽減を図るため、中学校に部活動指導員を配置する市町村に対する助成
スキーム	：国 1/3 県 1/3 市町村 1/3
助成対象	：奈良市外 26 市町村

P 30	市町村事務処理交付金
実施主体	：奈良県
県予算額	：24,000 千円
目的・内容	：市町村へ移譲を行った事務の執行に係る経費を交付
スキーム	：県 10/10
算定方法	：交付金額＝基準額×前年度処理件数 基準額＝1 時間当り人件費×平均処理時間＋事務費

P 35 スポーツ振興くじ助成金

実施主体 : (独) 日本スポーツ振興センター

目的・内容 : スポーツ振興くじ (t o t o) の収益をもとに、地方公共団体及びスポーツ団
体が行う、スポーツの振興を目的とした一定事業に対し助成

助成区分 : 地域スポーツ施設整備

総合型地域スポーツクラブ活動

地方公共団体スポーツ活動

スポーツ団体スポーツ活動助成 ほか

助成割合 : 4/5 ほか

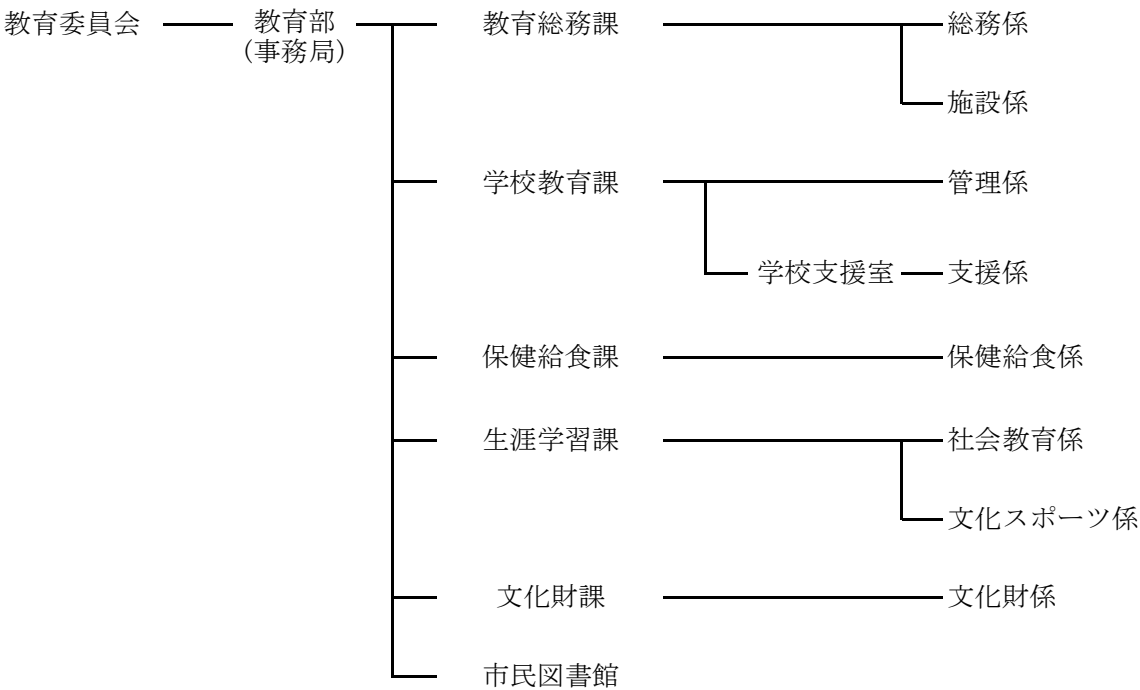
2 資料

(1) 教育委員会の概要

ア 教育長及び教育委員

役 職 名	氏 名	任 期
教育長	小 西 友 吉	令和3年5月1日から令和9年4月30日まで
教育長職務代理者	田 中 貴 治	平成27年4月1日から令和7年9月30日まで
委 員	三 岡 正 美	令和2年10月12日から令和6年10月11日まで
委 員	關 野 英 明	平成30年10月1日から令和8年9月30日まで
委 員	中 尾 茜	令和5年10月12日から令和9年10月11日まで
委 員	青 木 恒 夫	令和6年10月12日から令和10年10月11日まで

イ 教育委員会組織図（令和6年度）



(2) 教育委員会会議の開催状況

(令和6年4月から令和7年3月まで)

区 分	開催月日	案 件	顛 末
4月定例会	4月30日	香芝市史編さん委員会委員の解任及び任命に関する報告並びに承認について	原案承認
		香芝市いじめ・不登校等対応委員会委員の委嘱及び任命に関する報告並びに承認について	原案承認
		学校運営協議会委員の解嘱及び解任並びに委嘱及び任命に関する報告並びに承認について	原案承認
		香芝市地域学校協働活動推進員の委嘱に関する報告及び承認について	原案承認
		香芝市公民館運営審議会委員の解嘱及び委嘱に関する報告並びに承認について	原案承認
		香芝市社会教育委員の解嘱及び委嘱に関する報告並びに承認について	原案承認
5月定例会	5月29日	香芝市立幼稚園規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
		香芝市就学指導委員会委員の委嘱及び任命について	原案可決
		香芝市教科用図書選定委員会委員の委嘱及び任命について	原案可決
		香芝市教育委員会指定管理者選定委員会委員の委嘱及び任命について	原案可決
		香芝市史跡整備検討委員会委員の解嘱及び委嘱について	原案可決
		香芝市社会教育委員の解嘱並びに委嘱に関する報告及び承認について	原案承認
6月定例会	6月21日	香芝市望ましい学校環境検討委員会委員の委嘱及び任命について	原案可決
7月定例会	7月24日	令和6年度香芝市教育委員会事務局職員の人事について	原案可決
		香芝市望ましい学校環境検討委員会への諮問について	原案可決
8月定例会	8月21日	香芝市教育委員会事務局の職員の職務に関する要望等の記録等に関する規則の制定について	原案承認
		令和7年度使用教科用図書の採択について	原案可決
		香芝市文化財保護審議会委員の委嘱について	原案可決
		香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取について	原案承認
		香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取について	原案承認
		市長と教育委員会との地方自治法第180条の2の規定に基づく協議について	原案可決
		市長と教育委員会との地方自治法第180条の7の規定に基づく協議について	原案可決
9月定例会	9月24日	香芝市体育施設条例施行規則の一部を改正することについて	原案可決
10月定例会	10月23日	香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取について	原案承認
		香芝市二上山博物館条例施行規則の一部改正に関する報告及び承認について	原案承認
11月定例会	11月27日	令和6年度香芝市の教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について	原案可決
		香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取について	原案承認
		香芝市教育委員会事務局組織及び事務分掌規則の一部を改正することについて	原案可決
		香芝市教育委員会事務局事務決裁規程の一部改正することについて	原案可決
		香芝市長の権限に属する事務の香芝市教育委員会に対する委任及び補助執行に関する規則の一部を改正することについて	原案可決
		香芝市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の制定について	原案可決
12月定例会	12月24日	令和7年1月1日付け香芝市教育委員会事務局職員等の人事について	原案可決

区 分	開催月日	案 件	顛 末
1 月定例会	1 月 2 8 日	香芝市史編さん委員会委員の任命に関する報告及び承認について	原案承認
		令和 6 年度香芝市教育委員会表彰被表彰者の決定について	原案可決
		市長と教育委員会との地方自治法第 1 8 0 条の 2 の規定に基づく協議について	原案可決
2 月定例会	2 月 2 1 日	香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取に関する報告及び承認について	原案承認
		香芝市学校施設の再編等に関する基本方針の廃止について	原案可決
3 月定例会	3 月 2 5 日	香芝市有料公園施設の管理に関する規則の一部改正に関する報告及び承認について	原案承認
		令和 7 年度学校産業医の委嘱について	原案可決
		令和 7 年度香芝市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について	原案可決
		香芝市学校給食費徴収規則の一部改正について	原案可決
		香芝市スポーツ推進委員の委嘱について	原案可決
		香芝市社会教育委員の委嘱について	原案可決
		香芝市公民館運営審議会委員の委嘱について	原案可決
		香芝市地域学校協働活動推進員の委嘱について	原案可決
		香芝市体育施設条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		令和 7 年度香芝市教育委員会事務局職員、幼稚園教職員及び用務員の人事について	原案可決
		令和 7 年度認定こども園職員の人事について	原案承認
		香芝市史編さん委員会委員の解任及び任命について	原案可決
		市長と教育委員会との地方自治法第 1 8 0 条の 2 の規定に基づく協議について	原案可決
		香芝市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則を廃止することについて	原案可決

(3) 教育委員会会議以外の活動状況

(令和6年4月から令和7年3月まで)

月	日	行	事	名
4	月	9	日	小学校入学式
		10	日	中学校入学式
10	月	19	日	小学校運動会（下田小、志都美小、三和小、鎌田小）
		22	日	学校訪問（鎌田小、香芝東中）
		26	日	小学校運動会（五位堂小、二上小、関屋小、真美ヶ丘東小、真美ヶ丘西小、旭ヶ丘小）
		28	日	学校訪問（志都美小、香芝北中）
		29	日	中学校体育大会（香芝西中、香芝東中、香芝北中）
11	月	1	日	学校訪問（真美ヶ丘東小、真美ヶ丘西小）
		3	日	第33回子どもフェスティバル
		5	日	学校訪問（旭ヶ丘小、香芝西中）
		8	日	学校訪問（下田小、三和小）
		12	日	中学校体育大会（香芝中）
		13	日	令和6年度近畿市町村教育委員会連絡協議会・奈良県市町村教育委員会 連合会合同研修大会（オンライン）
		16	日	下田小学校創立150周年記念式典
		21	日	学校訪問（五位堂小、二上小）
		26	日	学校訪問（関屋小、香芝中）
12	月	7	日	令和6年度香芝市青少年健全育成市民集会
1	月	13	日	令和7年香芝市二十歳を祝う会
		19	日	第32回香芝市マラソン大会
2	月	22	日	教育委員会表彰式
3	月	14	日	中学校卒業式
		19	日	小学校卒業式

(4) 児童生徒数一覧

(令和6年5月1日現在)

小学校	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		前年比	
	クラス数	児童数	クラス数	児童数	クラス数	児童数	クラス数	児童数	クラス数	児童数	クラス数	児童数
五位堂	15	437	15	420	16	430	16	455	14	427	-2	-28
下 田	24	759	24	726	24	718	24	768	24	741	0	-27
二 上	23	756	23	715	22	656	21	613	17	506	-4	-107
志都美	9	270	8	248	10	249	9	235	9	235	0	0
関 屋	12	413	12	394	12	390	12	383	12	357	0	-26
三 和	14	447	16	430	17	454	17	489	17	501	0	12
鎌 田	7	216	7	201	7	203	8	212	9	215	1	3
真美ヶ丘東	16	499	16	437	16	439	16	448	15	459	-1	11
真美ヶ丘西	15	425	15	421	15	420	15	444	15	453	0	9
旭ヶ丘	26	821	24	708	23	653	22	644	18	540	-4	-104
計	161	5,043	160	4,700	162	4,612	160	4,691	150	4,434	-10	-257

中学校	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		前年比	
	クラス数	生徒数	クラス数	生徒数	クラス数	生徒数	クラス数	生徒数	クラス数	生徒数	クラス数	生徒数
香 芝	18	674	18	652	18	656	18	694	18	684	0	-10
香芝西	15	541	15	523	15	527	15	553	15	533	0	-20
香芝東	17	613	17	595	17	608	17	602	16	586	-1	-16
香芝北	19	672	18	624	16	566	14	513	13	476	-1	-37
計	69	2,500	68	2,394	66	2,357	64	2,362	62	2,279	-2	-83

3 点検及び評価について

(1) 自己点検及び自己評価

施策に関する主な取組事項ごとの点検・評価シート等により、前年度の実施事業の進捗状況を確認するとともに、課題や今後の取組の方向性を示すべく、教育委員会事務局教育部が自己点検及び自己評価を行いました。

(2) 意見の聴取

評価の客観性を確保する観点から、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るために、知見者から意見を聴取しました。

(3) 教育委員会による点検及び評価

教育委員会において、前記(1)及び(2)を踏まえて点検及び評価を行いました。

4 施策の点検・評価に関する知見者の意見

(1) 知見者の意見

前記3(2)について、教育委員会が令和6年度に実施した、教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価に関する資料を基に、施策についての懇談会を行いました。知見者による施策の評価に係る意見は、次のとおりです。

○学校教育の充実

不登校や特別な支援が必要な児童生徒も増加しており、スクールカウンセラーや支援員等、きめ細やかな対応ができる人員の配置の必要性がより高まっている。特別支援教育の相談に乗るコーディネーターによる巡回相談なども実施していただいております。効果的だと思うので、一層の充実を図っていただきたい。また、適応指導教室のさらなる充実や、教育課程の弾力化についても検討をお願いします。

学力の向上については、ICTの活用は目標数値を上方修正する程に達成できているが、教科の目標はわずかに及んでいない。教員の指導力向上に資する研修にも、より力を入れて進めていただければ良いと思う。

学校のトイレの洋式化が進んでいるのは、子どもたちが学校で安心して学習や生活ができる環境の整備につながる。引き続き学校施設や設備の整備を進めていただきたい。

○家庭・地域・学校の連携

地域のボランティアの高齢化等による課題もある中で、地域学校協働活動推進員によるコーディネートは重要であり、PTA会長の経験者等、学校と地域をよく知る方はうってつけの人材だと考える。人材の掘り起こしを進めてほしい。

子どもフェスティバルに参加した際に、保護者と一緒に来た中学生や高校生がスタッフとして手伝ってくれたが、楽しかったと言ってくれた。学校生活ではな

なかなかできない体験だと思うので、子どもたちが運営側に参加できる仕組みがあると良いのではないかと感じた。

「少年の主張」作文は、「書く」という機会が減る中で、学びの場としてぜひ参加率の向上を図ってほしい。コンクールの魅力を高める等の取組をお願いしたい。

○文化芸術の振興・多文化共生

ふたかみ文化センターの稼働率が上がってきているので、引き続き様々に工夫して進めていただきたい。

多文化共生については市長部局の事業でもあるが、教育としても、学校と地域の連携で理解を深める取組や、外国籍の子どもに指導員が寄り添うことで授業にもなじんでいるという事例等の説明を受けて、素晴らしいことと感じた。横断的に進めていただければと思う。

○生涯学習とスポーツ活動の充実

夏のかしばアカデミーは、市民同士で学び合う良い取組だと思うので、ぜひ広げていってもらいたい。

図書館の本を高齢者施設に貸し出す取組も良いことなので、例えば、病院や自治会の方々が行きやすい場所等にも広げて、届けられれば良いと考える。

インターネットの普及等により本離れが進む中、読書する力を子どもたちにつけてもらいたいので、ぜひ引き続き取組を続けていっていただきたい。

電子書籍の利用が伸び悩んでいるところがあり、小中学校の児童生徒に利用してもらう取組は良いと感じた。継続的に利用してもらえるような工夫を、引き続きお願いしたい。システムの操作しやすさも関係すると思うので、システム自体や使い方の周知方法等も検討いただきたい。

○歴史文化財の保存と継承・展開

博学連携参加者数が伸びている。地域の魅力ある歴史資源を活用し、子どもたちにそれを伝える素晴らしい取組なので、ぜひ継続してほしい。

また、香芝市では、飛鳥時代の古墳とお寺を1か所で見られるということで、遠方からお越しになる方もいるとお聞きした。ぜひそうした魅力も広く発信していってもらえれば良いと思う。

○総括

子どもの学びから市民の生涯学習も含め、限られた予算の中で工夫して取り組んでいただいている。行政もSNS等の時代に合わせたツールも活用しながら、引き続き広報や事業の中身についてより一層の充実を図っていただきたい。

(2) 知見者名簿

畿央大学 教育学部 教授	島 恒 生
香芝市社会教育委員会 議長	助 定 雅 章
香芝市PTA協議会 会長	中 川 昌 美

<知見者と教育委員会教育長及び事務局職員との懇談会の様子>



